

2023年度

事業概要

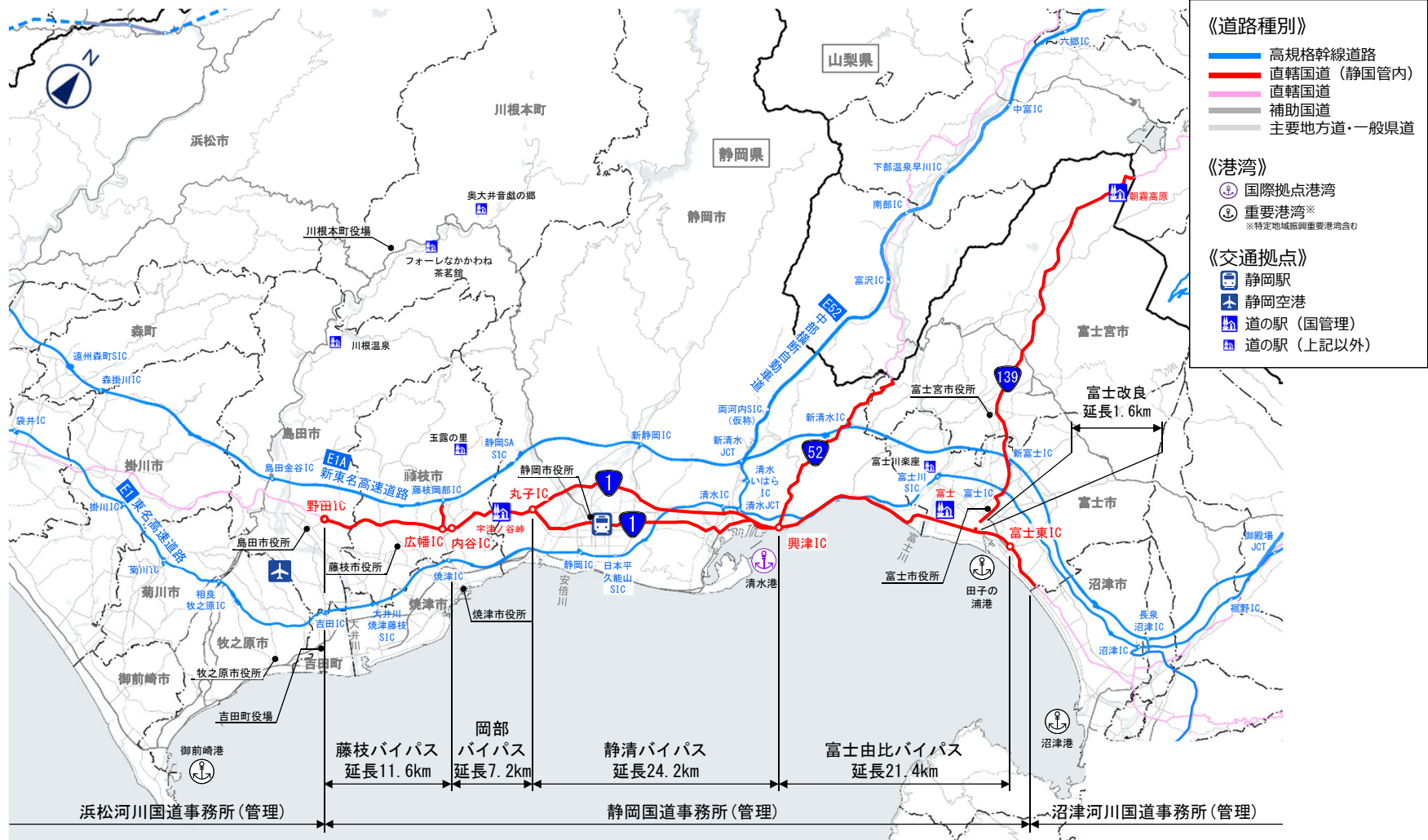
2023年11月

国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所

目次

1. 静岡国道事務所の管内	1
2. 令和5年度の主な事業	2
3. 令和5年度予算と推移	3
4. 道路ネットワークの機能強化（改築事業）	
国道1号 静清バイパス 清水立体	4
国道1号 藤枝バイパス	8
国道139号 富士改良	10
国道1号 富士由比バイパス（富士立体）	12
5. 管内の将来的なネットワーク機能強化（道路調査）	13
6. 「道の駅」の機能強化	19
7. 道路管理	24
8. 災害への備え	32
9. 交通安全の推進	39
10. 無電柱化の推進	41
11. 標識改善	42
12. 住民参加型の道路管理	44
13. 道路を活かした地域の活性化	46
14. 自転車の利用環境の整備と活用促進	49
15. 地域への情報発信	51
16. 建設業の課題解決に向けた取り組み	52

1 静岡国道事務所の管内

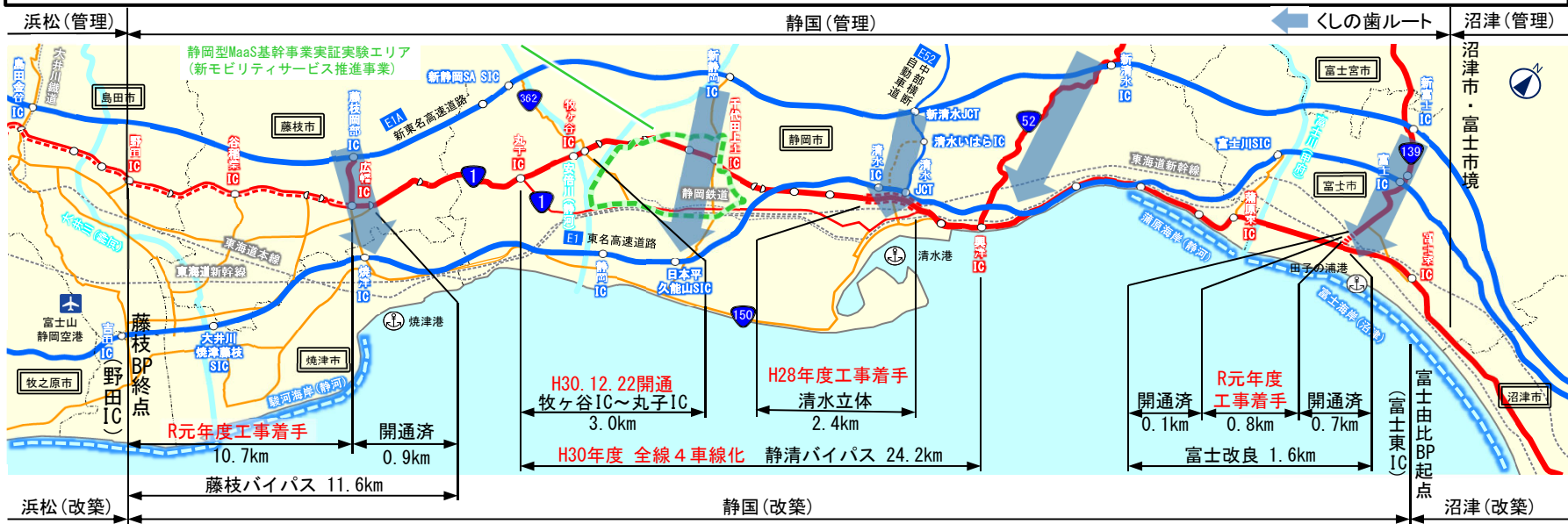


路線名	管理区間		延長 (km)	管理延長内訳			
	起点	終点		静岡国道維持出張所		富士国道維持出張所	
1号	富士市中里字大角2515番1	島田市野田字鎌研1603番1	(23.4) 92.4	新富士川橋右岸から 島田市野田	(23.4) 80.5	富士市中里から 新富士川橋右岸	11.9
52号	静岡市清水区興津中町字弁天 前622番	山梨県南巨摩郡那都町大字万 沢字境川官有無番地	19.5	静岡市清水区興津中町から 山梨県南巨摩郡那都町	19.5	—	—
139号	富士市中丸字木ノ市28番3	富士宮市根原字豊住176番1	37.8	—	—	富士市中丸から 富士宮市根原	37.8
計			(23.4) 149.6	—	(23.4) 99.9		49.7

※()内書きはダブルウェイ区間の延長。
 ※計数はそれぞれ四捨五入にしているため、
 端数において合計と一致しない場合がある。

2 令和5年度の主な事業

- 道路ネットワークの機能強化を図るため、東名高速等の国土軸と拠点都市、港湾を連絡する静清バイパス等の整備や静岡南北道路長沼立体等の調査を推進
- また、道路ネットワーク上の交通拠点となる静岡駅や「道の駅」の機能強化を図るとともに、しずおかMaaSの導入に向けた取り組みを支援
- 橋梁やトンネル等の道路構造物の維持修繕、長寿命化を図るため点検・診断・補修を進めるとともに、地方公共団体と一体となって道路メンテナンスを推進するための会議を実施
- 整備した道路ネットワークを前提に南海トラフ巨大地震時の啓開ルートである「くしの歯ルート」や最新の被害想定を踏まえた具体的な啓開計画の検討、実効性の高い啓開訓練等を実施



広幡IC付近の交通状況



清水IC付近の交通状況

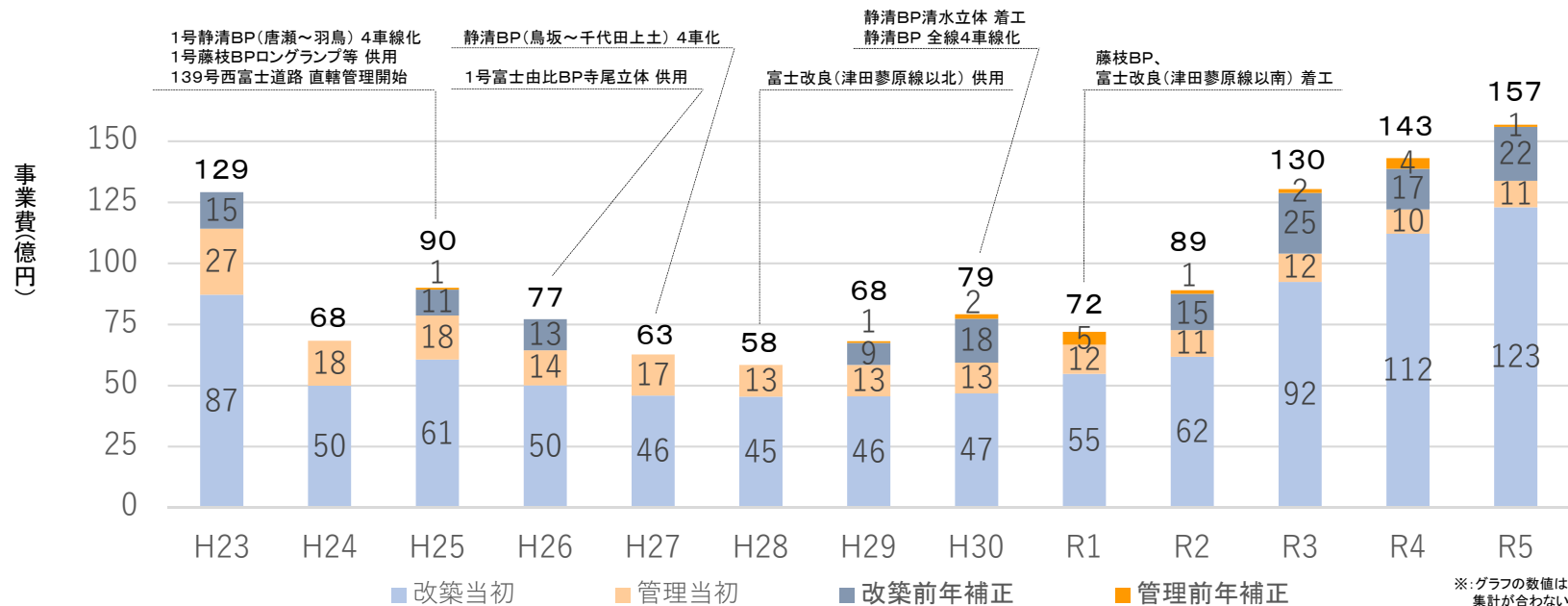


3 令和5年度予算と推移

事業名		R3当初	R3補正	R4当初	R4補正	R5当初	伸率 (R5/R4)
改築	国道1号 静清BP	6,446	936	7,721	670	7,921	0.99 1.03
	国道1号 藤枝BP	1,500	730	2,624	1,535	2,854	1.31 1.09
	国道1号 富士由比BP	35	0	28	0	28	1.00 1.00
	国道139号 富士改良	1,258	0	840	0	1,496	1.78 1.78
	小計 (百万円)	9,239	1,666	11,213	2,205	12,299	1.13 1.10
管理	無電柱化	370	274	140	10	214	0.54 1.53
	交通安全	790	160	853	75	871	0.93 1.02
事務所計 (百万円)		10,399	2,100	12,206	2,290	13,384	1.10 1.10

3

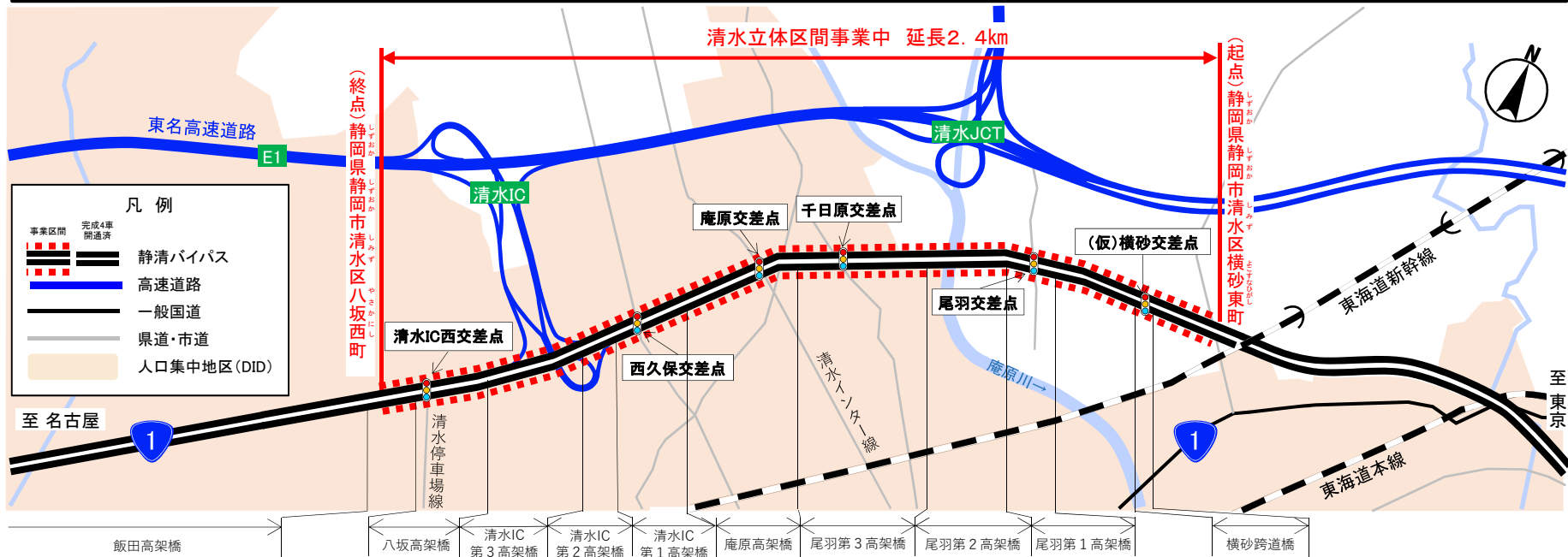
※:伸率は、下記の通り。
 ・上段:当初+前年度補正
 ・下段:当初



4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道1号静岡バイパス清水立体

- 静岡バイパスのうち、唯一平面で残る東名清水IC周辺を高架化する国道1号静岡バイパス清水立体事業は、平成28年度に工事着手
- 早期に整備効果を発現させるため、東京向きの上り線の工事を優先的に推進。令和4年度には八坂高架橋の架設が完了
- 令和5年度は、全線にわたり橋梁上部工事を実施するとともに、横砂地区の改良工事等を実施



令和5年度の主な事業内容

- ◆調査推進 : 水文調査、調査設計(協議用資料作成等)
- ◆用地買収推進 : 西久保地区ほか用地買収、移転補償
- ◆工事推進 : 横砂地区ほか改良工
清水IC第1高架橋ほか上部工
尾羽第1高架橋ほか下部工
飯田地区舗装工

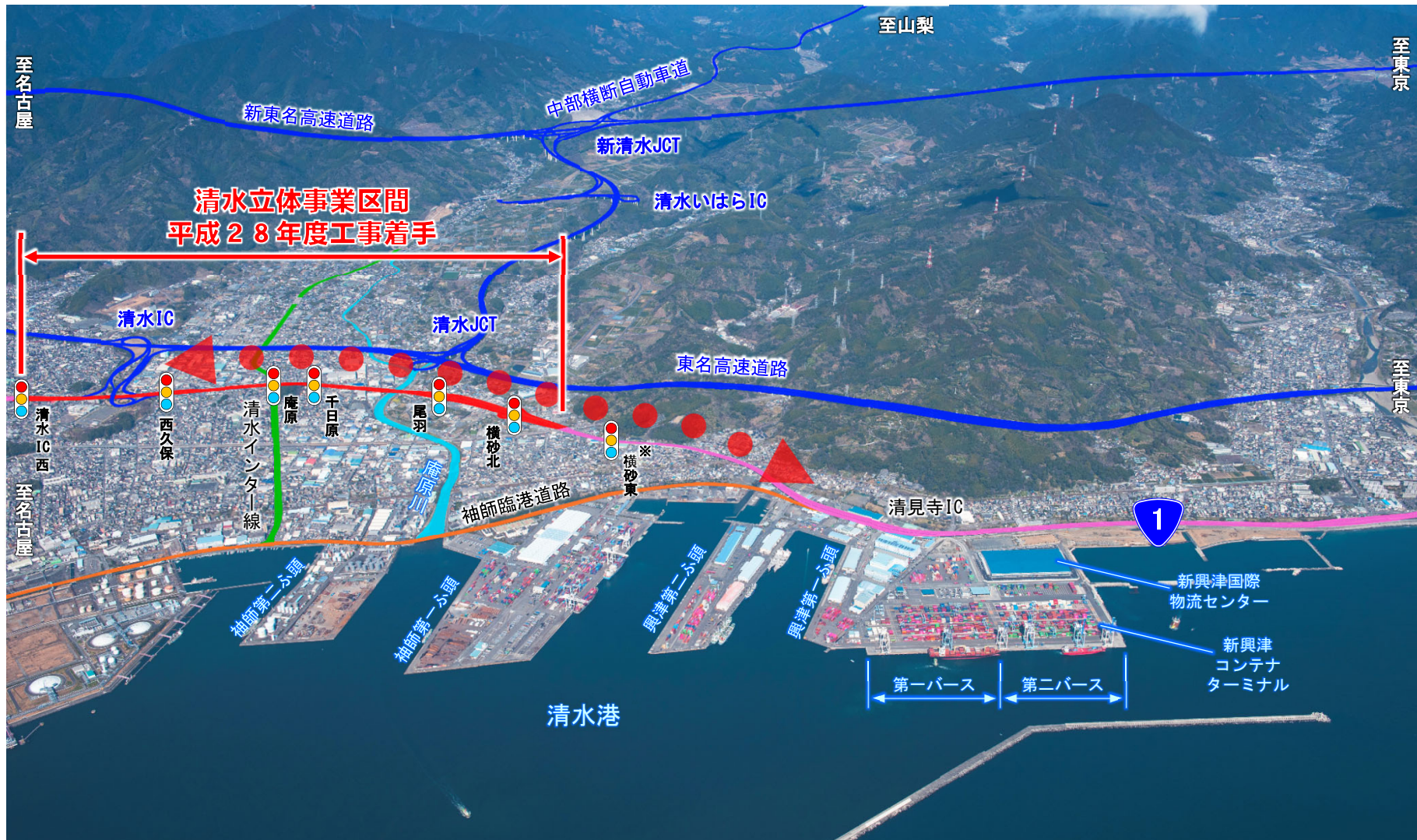
清水立体区間の工事状況



4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道1号静岡バイパス 清水立体

○清水立体事業とともに近傍の交差点撤去を実施することで、静岡バイパス本線を介して清水港と東名、新東名高速道路、中部横断自動車道が直結



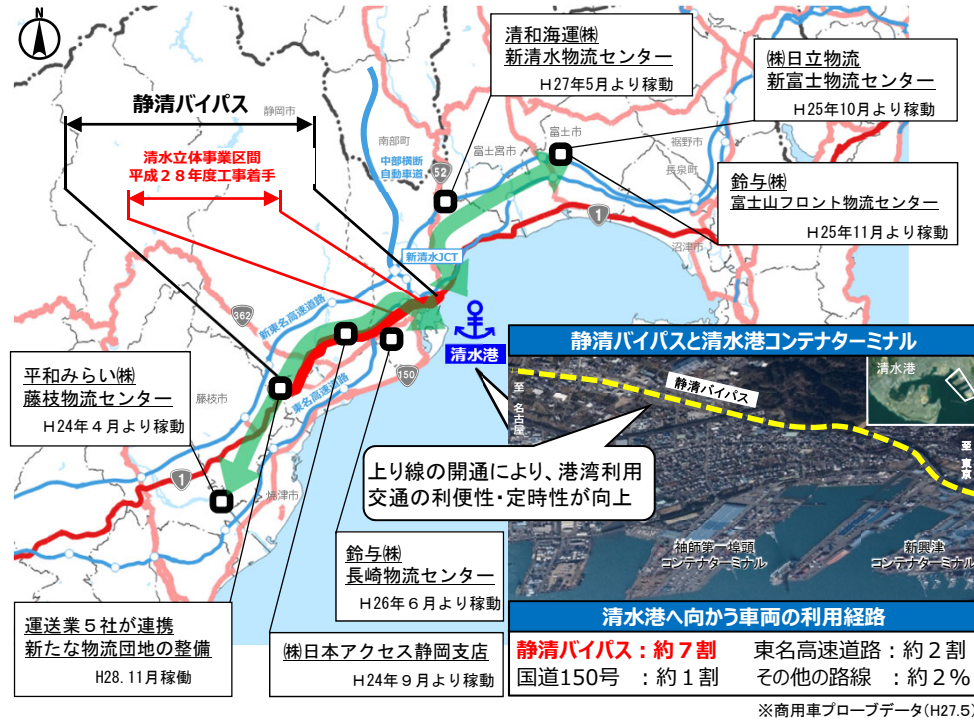
※清水立体事業と合わせ信号撤去予定

4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

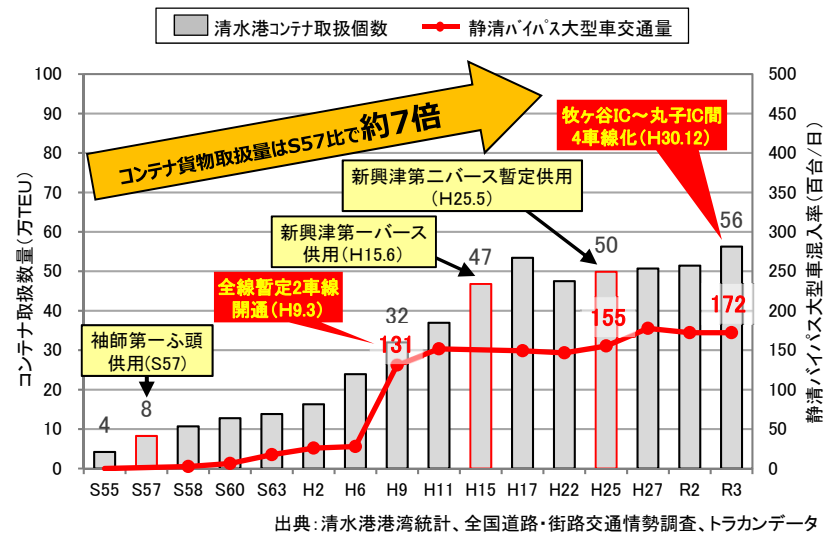
○国道1号静清バイパス 清水立体 整備効果

- 静清バイパス沿線には、新たな物流拠点の立地が顕著、バイパス整備と相まって清水港の取扱貨物量は増加
- 清水立体上り線開通により、清水港から物流拠点への輸送時間が短縮し、更なる港湾物流の活性化が期待

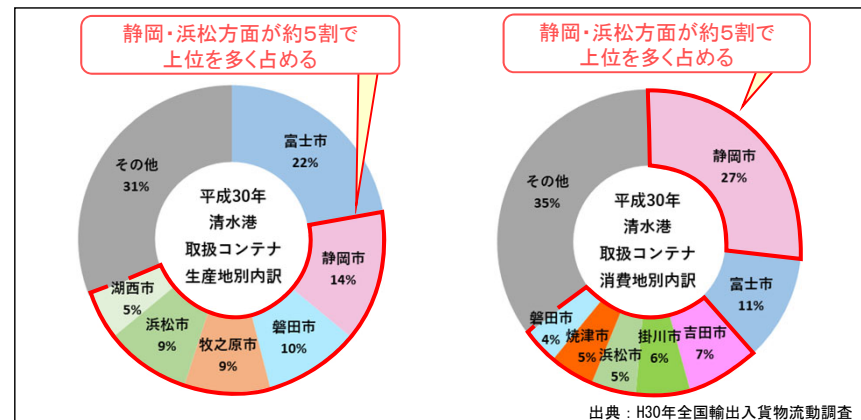
■新規立地物流拠点及び清水港への利用経路



■静清BP大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移



■清水港取扱貨物の生産地と消費地

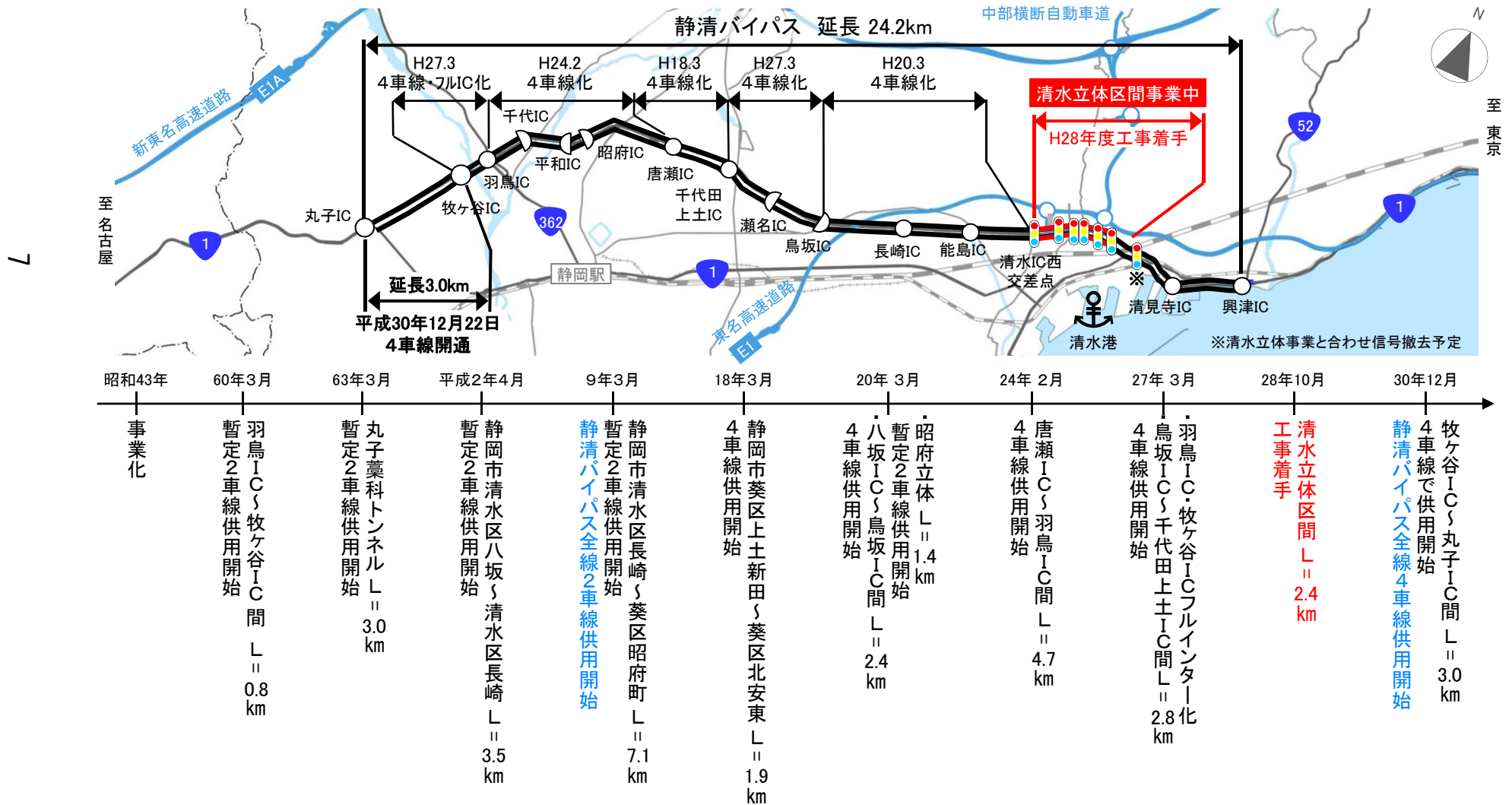


4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○(参考)国道1号静岡清水バイパス事業経緯

○国道1号静岡清水バイパスは、静岡市清水区興津東町おきつ あずまちょうから、静岡市駿河区丸子二軒家まりこ に けんやに至る延長24.2kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、交通事故の削減、災害に強い道路機能の確保、地域企業の産業活動支援を目的に計画された道路

○唯一、平面で残る東名清水IC周辺を高架化する「清水立体事業」を現在推進中

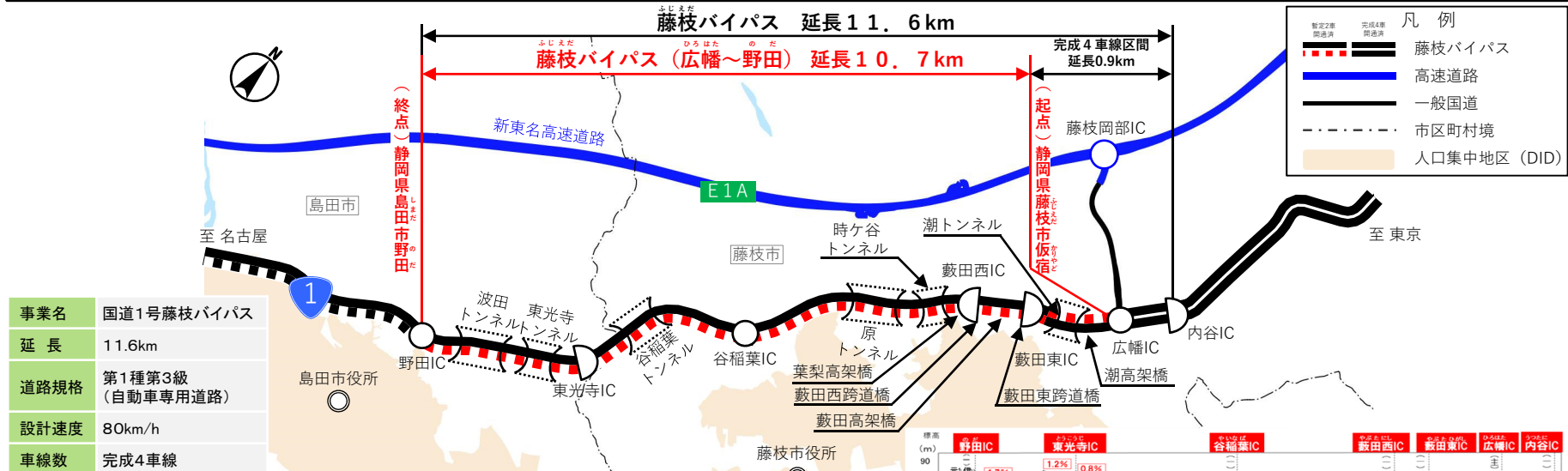


4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

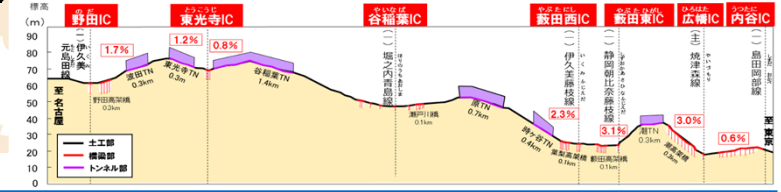
○国道1号藤枝バイパス

○国道1号藤枝バイパスは、交通渋滞の改善を図り、企業活動の支援及び市街地部の交通安全確保を目的に平成28年度に4車線化に着手し、令和元年度に潮高架橋の下部工事に着手

○令和5年度は、**広幡IC**～**藪田西IC**では潮トンネルの掘削や潮高架橋の上部工事を全面展開、**藪田西IC**～**谷稲葉IC**では葉梨高架橋下部工事を実施。谷稲葉IC以西では調査設計を推進



■ 藤枝バイパスの工事状況



令和5年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 測量、水文調査、道路設計、調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地買収推進: 原地区ほか用地買収
- ◆ 工事推進 : 潮トンネル工、仮宿地区改良工、潮高架橋ほか上部工、潮地区ほか舗装工、葉梨高架橋下部工

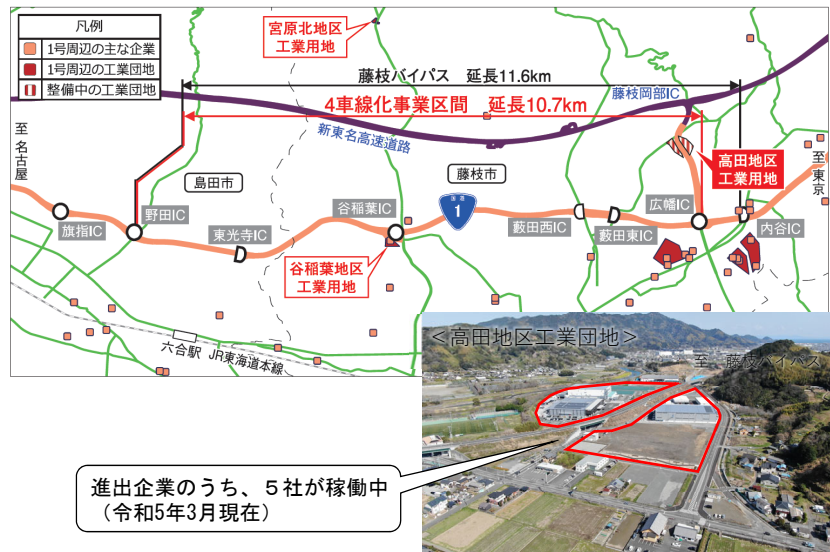
4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道1号藤枝バイパス 整備効果

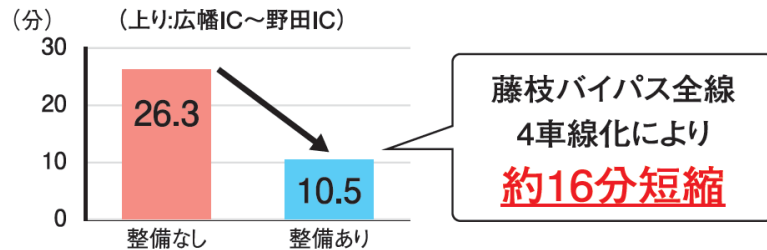
渋滞緩和により、企業活動を支援

- ・4車線化により渋滞が緩和され、広幡IC～野田IC間の所要時間が短縮
- ・渋滞緩和により、地域の円滑な企業活動を支援するとともに、さらなる経済発展を支援

■ 藤枝市・島田市の物流輸送を支える藤枝バイパス



■ 藤枝バイパス4車線化による時間短縮効果

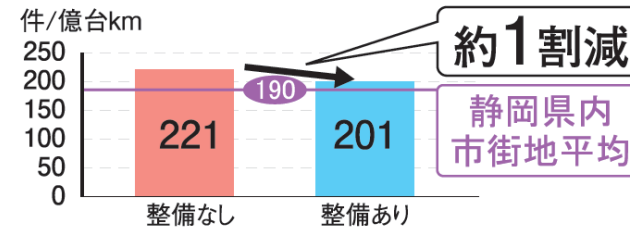


出典:整備前:平日ETC2.0データ(R1.9月)7-8時台平均旅行速度
 整備後:藤枝バイパス事業区間の将来は60km/h

生活の安心・安全を守る

- ・4車線化による渋滞緩和に伴い、県道や街路から藤枝バイパスへ車両の転換が図られる事で、市街地の死傷事故率の低下が期待

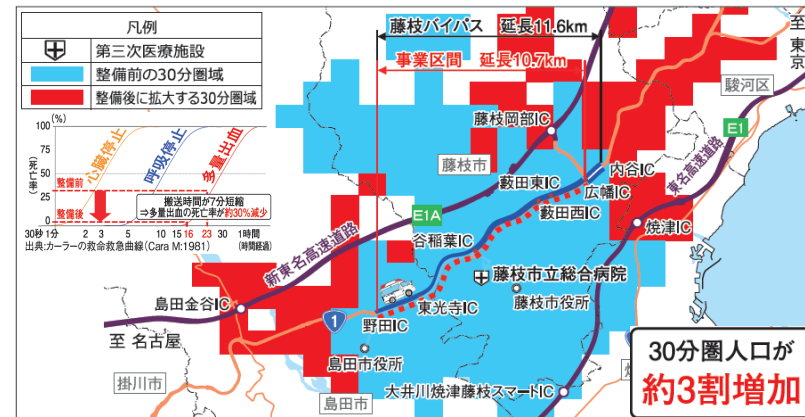
■ 藤枝市街地の平均死傷事故率



- ・平均死傷事故率
 整備なし:交通事故統合データベース(H27~30年度平均)
 整備あり:交通量配分結果より算出
- ・市街地定義:代表沿道状況が「人口集中地区」「その他市街部」の道路
- ・抽出道路:国道を除く一般県道・地方主要道を対象

- ・藤枝市立総合病院の30分圏域が拡大し、搬送時間の短縮及び救命率の向上が期待

■ 道路網強化による医療サービスの向上



4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道139号富士改良

○国道139号富士改良は、富士市内の南北軸を形成する国道139号と国道1号を接続し、富士市街部の交通混雑の緩和を図ることを目的に、平成5年度に着手。平成28年3月に(都)津田蓼原線以北を供用

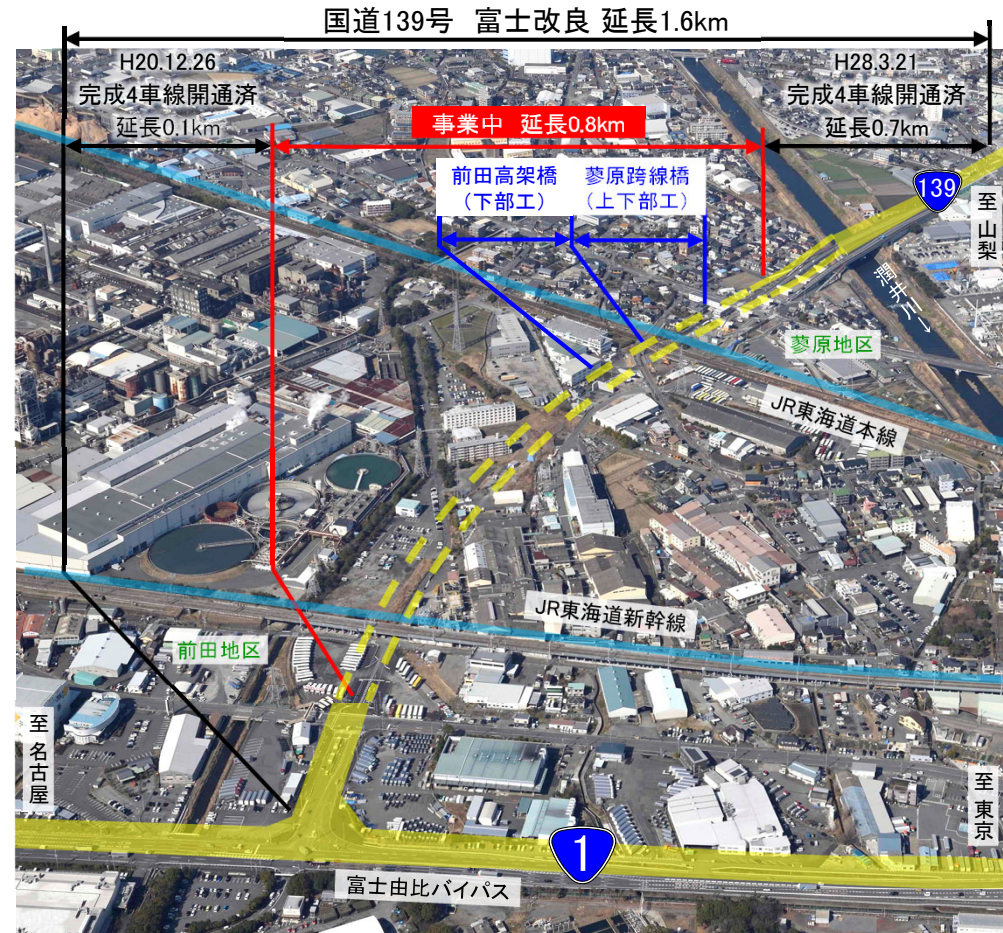
○令和元年度に蓼原高架橋の下部工事に着手。令和2年度に大型の移転補償契約、令和3年度に鉄道委託協定を締結

○令和5年度は、前田高架橋の下部工事を実施するとともに、JR東海道本線を跨ぐ蓼原跨線橋の下部工事や上部工の製作を実施



令和5年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地買収推進 : 蓼原地区用地買収、移転補償
- ◆ 工事推進 : 蓼原跨線橋上部工
蓼原跨線橋ほか下部工



4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道139号富士改良 整備効果

所要時間の短縮

・富士改良の整備により、富士市街地(青島交差点)から直線的に国道1号へアクセスが可能となり、国道139号現道経由に比べ、所要時間が短縮



[信号交差点による渋滞状況]



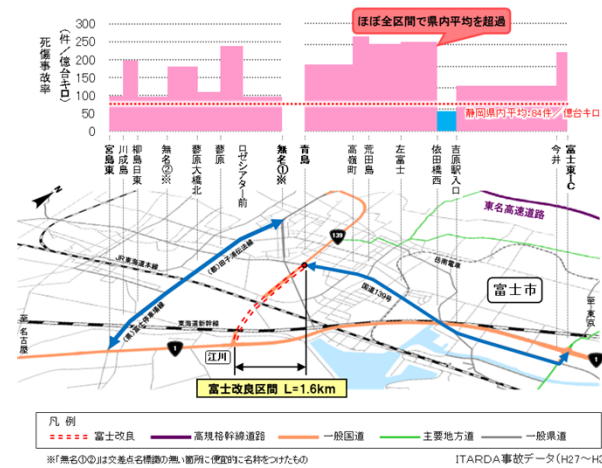
[鉄道踏切による渋滞状況]



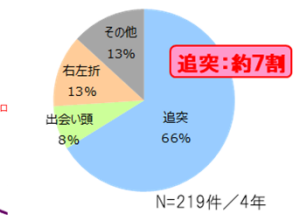
交通安全の確保

・富士改良区間の整備により、並行路線から富士改良区間へ交通を転換させる事で、周辺道路を含めた死傷事故の削減が期待

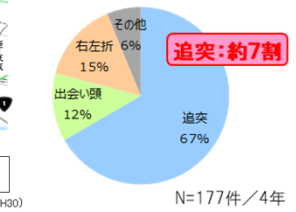
[並行路線の死傷事故率(H27~H30)]



[(都)田子浦伝法線・(県)富士停車場線]



[国道139号現道]



■並行路線((都)田子浦伝法線・(県)富士停車場線・国道139号現道)の事故削減効果

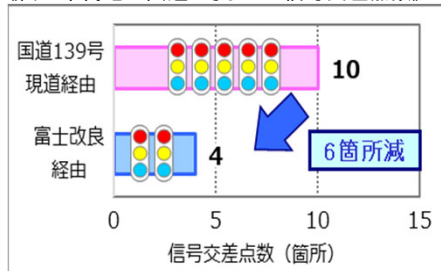


※死傷事故率静岡県内平均:84件/億台km

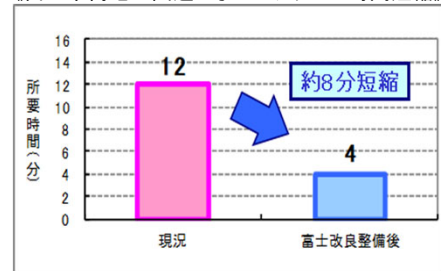
現況:ITARDA事故データ(H27~H30) 富士改良整備後:交通量推計結果(R12年度)より算出

■富士市街地から国道1号へのアクセス性向上

《富士市街地~国道1号までの信号交差点数》



《富士市街地~国道1号へのアクセス時間短縮》



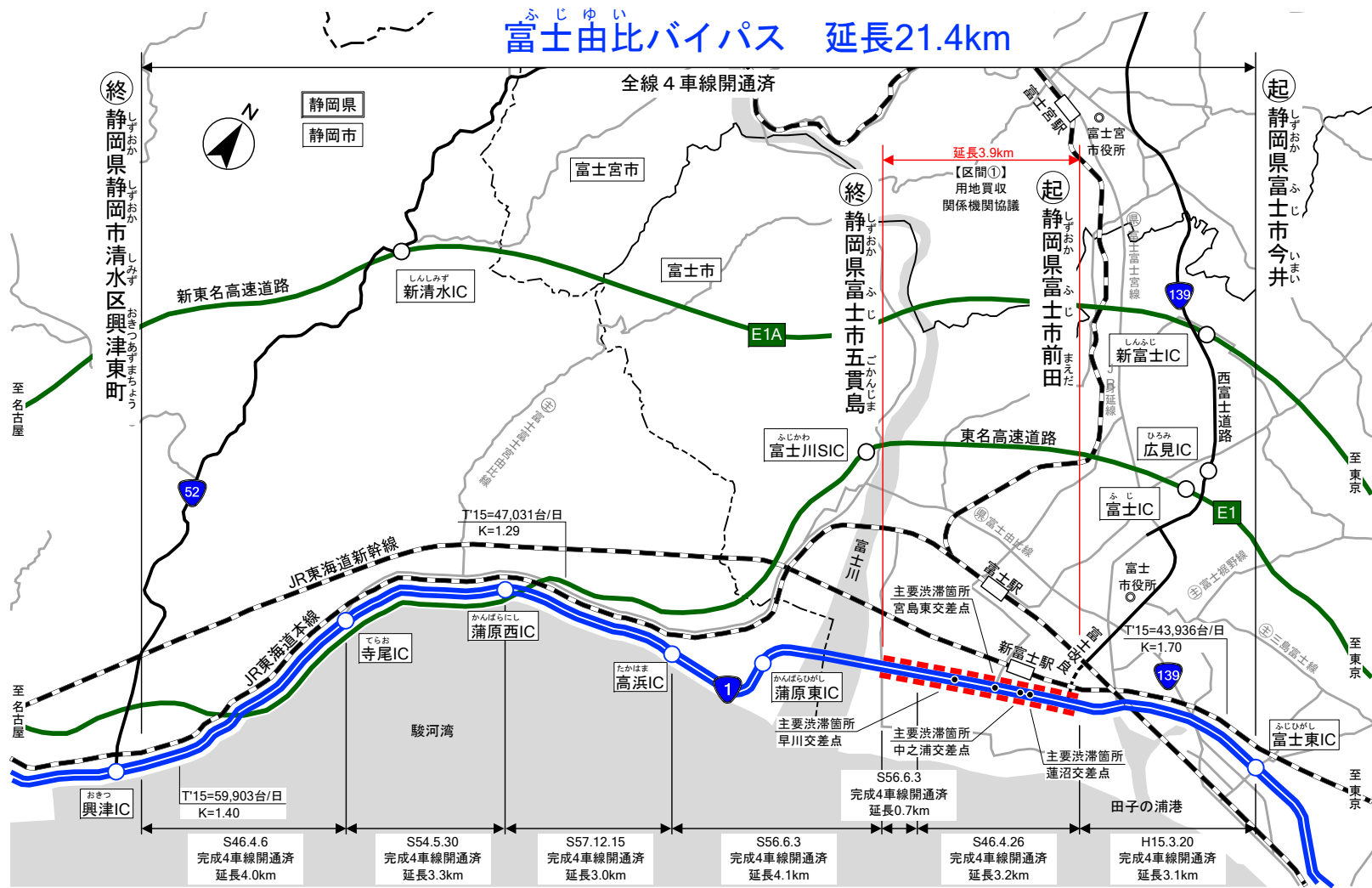
※ 現況: 国道139号現道における平日ETC2.0ゲータ(R1.10月)17時台を基に算出
 将来: 未整備区間は設計速度60km/hで計算(整備済区間は平日ETC2.0ゲータ(R1.10月)17時台)を基に算出

4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道1号富士由比バイパス(富士立体)

令和5年度の主な事業内容

- ◆ 調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地買収推進 : 柳島地区公共施設管理者負担金

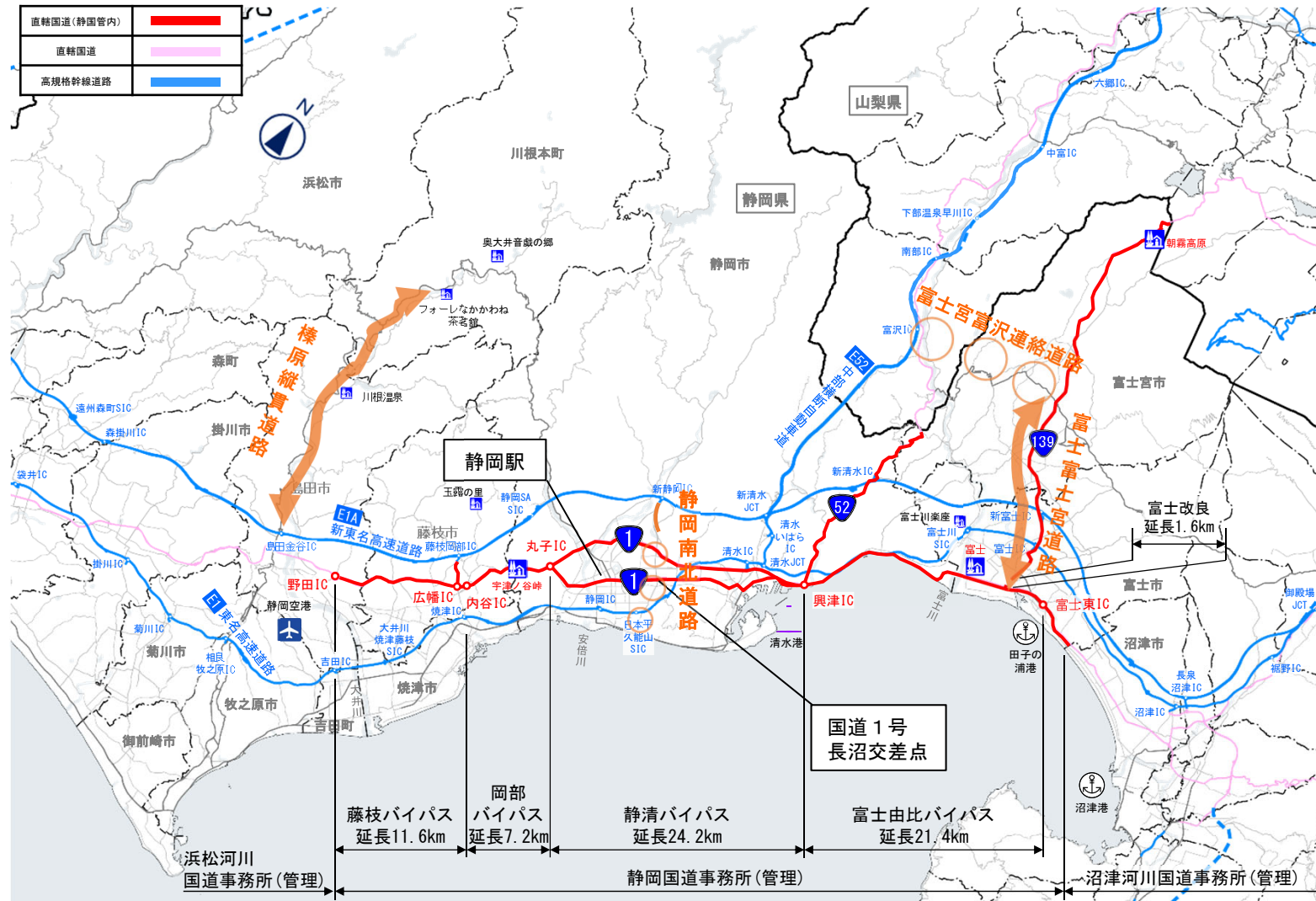


凡 例	
開通済	——
事業中	——

5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○新広域道路交通計画(中部ブロック版)・管内調査箇所

○中部ブロックの将来像の実現に向けて、広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、ICT交通マネジメントの3つの観点から、令和3年3月に新広域道路交通計画(中部ブロック版)を策定

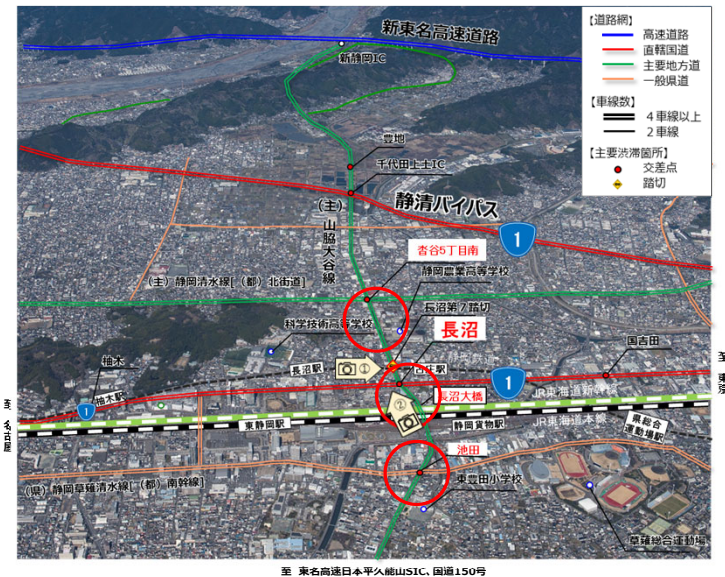
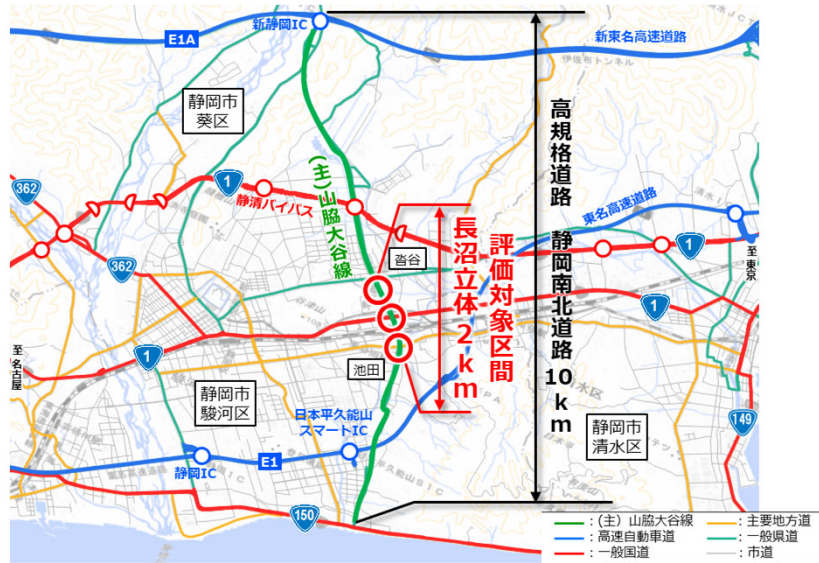


5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

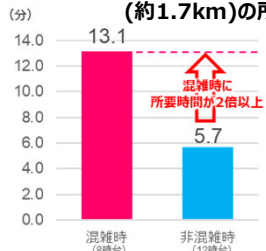
○静岡南北道路長沼立体

- 国道1号長沼交差点は、静岡市内の国道1号と(主)山脇大谷線が交わる交差点。南北交通が鉄道等との交差部で滞留していることにより、交通が集中する国道1号からの左折が曲がりきれず、直進の渋滞を悪化
- 令和3年8月の静岡県道路交通渋滞対策推進協議会で、静岡鉄道踏切と長沼交差点を跨ぐ(主)山脇大谷線の立体化事業とJRを跨ぐ長沼大橋の架替事業の一体的な実施を、行政機関での機能強化案として確認
- 令和4年度から概略ルート・構造の検討(計画段階評価)に着手し、令和5年2月に第1回中部地方小委員会を開催
- 令和5年度は、引き続き計画段階評価の手続きを進めていく

14

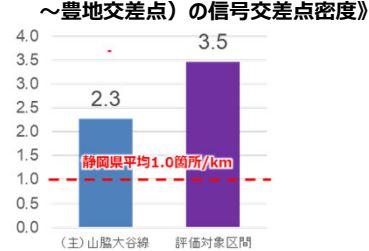


《沓谷5丁目南交差点→池田交差点 (約1.7km)の所要時間》



※出典: ETC2.0データ(R3.10月平日)

《(主)山脇大谷線 (大谷放水路東交差点 ~ 豊地交差点)の信号交差点密度》



※出典: H27全国道路・街路交通情勢調査



※写真撮影日: R3.11.11(木)16時台



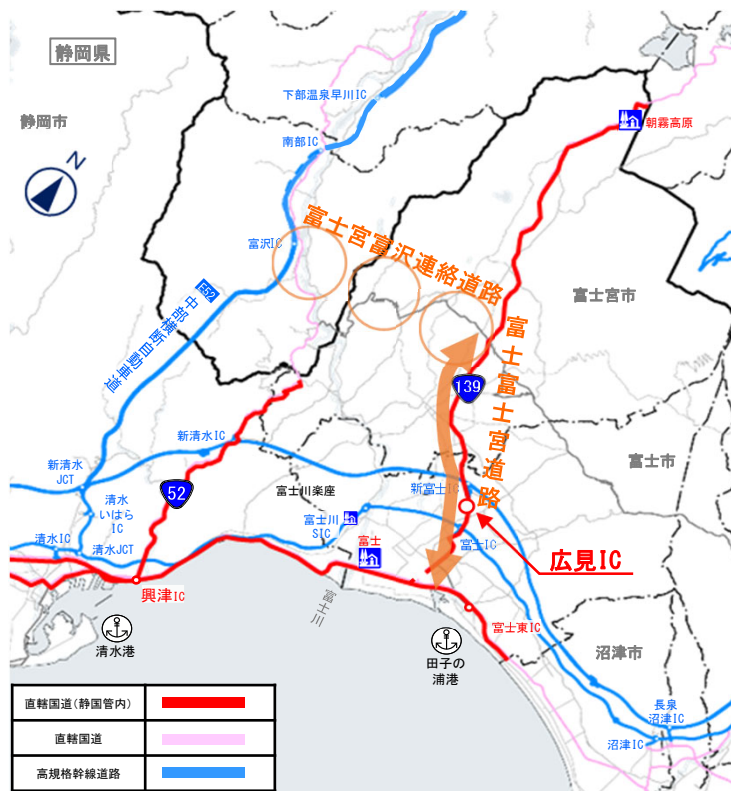
※写真撮影日: R4.8.26(金)18時台

5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

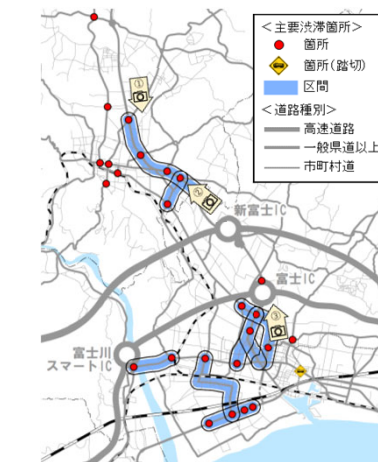
○岳南都市圏の交通機能強化

- 西富士道路においては、平成24年4月の無料化、新東名の開通以降、大型車を含む交通量が大幅に増加
- 広見IC下り線(北向き)オフランプにおいては、容量が不足していることにより、交通が本線まで滞留し、その末尾への本線交通の追突が懸念されるなど危険な状況であるため、本線までの滞留長を緩和して本線交通の安全性を確保することなどを目的に、オフランプの2車線化を令和3年度に着手。令和4年度は地元説明の実施、設計に着手し、令和5年度は、引き続き設計を進めるとともに用地買収に着手
- 一般広域道路「富士富士宮道路」については、国道139号が担う人流・物流の更なる円滑化を図るため、関係自治体とも連携しつつ、地域のネットワークにおける課題、路線の必要性・効果に関する調査を推進

15



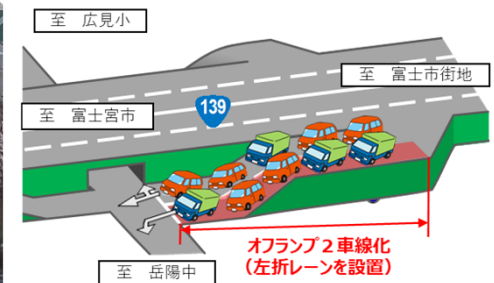
■岳南地域の主要渋滞箇所



■広見IC渋滞状況



■渋滞対策案

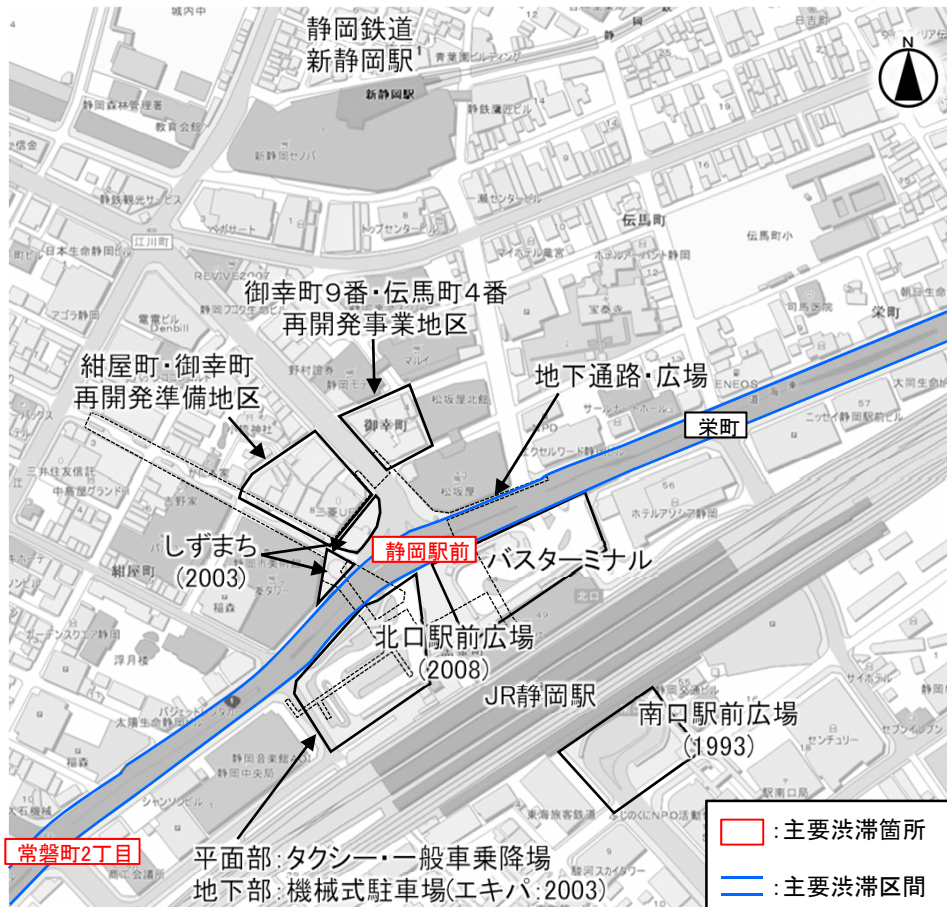


5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○静岡駅周辺

○MaaSや自動運転などのIT技術による交通の技術革新、令和9年に予定されているリニア中央新幹線開業や、新型コロナウイルスによる社会構造の変化により、駅周辺の空間活用のあり方を検討する時期を向かえていることを踏まえつつ、交通拠点の機能強化・再編の必要性等を検討

○令和5年度は、関係自治体と連携し、地域のまちづくり計画や静岡駅周辺事業者等へのヒアリング結果を踏まえ、交通拠点の機能強化・再編にあたっての方針を整理



1. 交通結節点としての機能不足

- MaaS車両の受入空間がない
- 路線バスの乗降場が点在
- 高速バス、観光バスの受入空間が不足
- 交通ターミナルとしての待合空間がない
- 自転車施策の展開空間がない

2. 静岡駅北口の賑わい不足

- 歩行者が地下道を利用するため、賑わいが不足
- 民間の再開発への対応が必要

3. 施設の老朽化等

- 機械式駐車場の劣化や地下水の漏水など、施設が老朽化
- 地下通路上や地下通路と接続する店舗入口に段差が存在

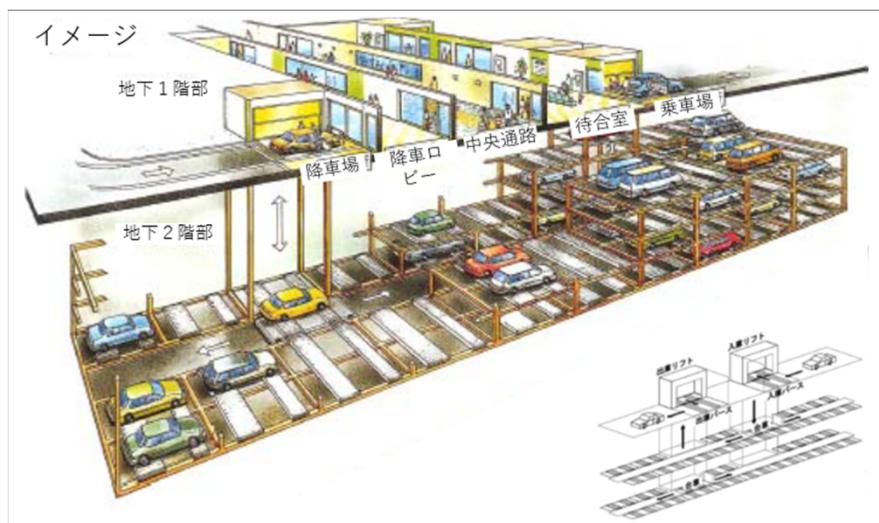


5 管内の将来的なネットワーク機能強化

○静岡駅前地下駐車場(エキパ)

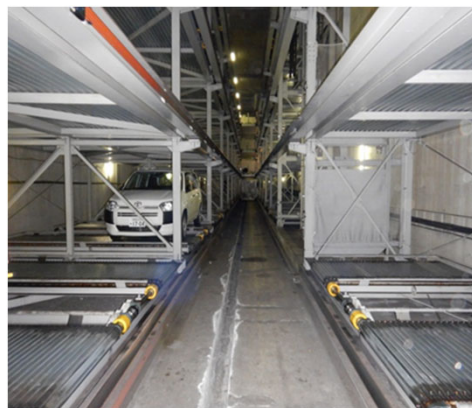
○静岡駅前地下駐車場は、JR静岡駅周辺の慢性的な駐車場不足の解消、道路交通の円滑化等を図ることを目的として、静岡市と共同で静岡駅北口地下駐車場と一体的に整備し、「エキパ」として平成15年10月から運用。

○静岡駅周辺の交通拠点の機能強化・再編の必要性等の検討状況、静岡駅周辺の駐車場整備等の状況、機械式駐車場設備の老朽化を踏まえ、「エキパ」の今後のあり方について検討。



【概要】

駐車型式	機械式駐車場
駐車台数	400台 (内訳) 静岡市：A・Bバース (200台) 静岡国道事務所：C・Dバース (200台)
駐車可能サイズ	車長 5.3m 車幅 1.9m 車高 2.0m 以下
構造	鉄筋コンクリート造 地上1階、地下1階、地下2階 (4層)
建築床面積	(延) 約10,000㎡



5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

〇しずおかMaaS

- 〇静岡市における多様な交通資源を有効活用した新たな移動サービスの提供を目指し、静岡市や鉄道事業者等によるコンソーシアムを令和元年5月に設立し、AIオンデマンド交通の社会実験を継続実施中
- 〇静岡国道事務所は、ETC2.0データを活用し、AIオンデマンド交通の配車に係る予測時間と所要時間の精度検証や交通渋滞や交通事故を未然に防ぐための幹線道路と生活道路の階層的な道路利用マネジメントを見据え、乗降スポット(Express Pool)の適切な配置方法を検討

■コンソーシアムの令和4年度の社会実験

<p>〈AIオンデマンド交通社会実験〉</p> <p>【目的】モビリティの拡充と統合 【概要】AIオンデマンド交通 【エリア】静岡駅北エリア</p> <p>【期間】R5年1月16日(月)～R5年6月30日(金)</p>	<p>〈COOL CHOICE 2022 in しずおか〉</p> <p>【目的】データ活用によるまちづくり 【概要】公共交通の無償化 【エリア】静鉄電車全線・静鉄路線バス ※静岡市内(一部路線除く) 【実施日】R4年11月19日(土)</p>
<p>〈中山間地MaaS実験〉</p> <p>【目的】モビリティの拡充と統合 【概要】地域住民によるデマンド型区域運行拠点形成(モビリティマルシェ) 【エリア】大河内地区・梅ヶ島地区(中山間地) 【期間】R4年11月2日(水)～R4年12月21日(水)</p>	<p>〈君と巡るシズオカ〉</p> <p>【目的】分野間の連携 【概要】人気声優をキャストした観光周遊施策(スタンプラリー) 【エリア】新静岡エリア・日本平エリア 【期間】R4年7月22日(金)～R4年8月31日(水)</p>

■AIオンデマンド交通社会実験の概要

項目	内容
概要	月額定額制、回数券払い、つど払いでAIオンデマンド交通(のりあいタクシー)を運行。つど払いでは、通常の乗降パターン(Door to Door型)と幹線道路上に指定した乗降スポットの利用で割安となるパターン(Express Pool型)の2パターンが利用可能。
期間	令和5年1月16日(月)～6月30日(金) 月～金曜日(祝日含む)の10時～17時
実験エリア	ほこみちによる賑わい拠点創出やシェアサイクルポートの設置などの取組が進んでおり、今後、各交通サービスの連携によるMaaS展開へのポテンシャルが高い静岡駅北エリア
対象者	事前登録された利用者(エリア外住民も可) ※乗降はエリア内のみ
予約・支払い	・スマートフォンアプリまたは電話による予約 ・つど払いは現金のみによる支払い(定額制、回数券はクレジットカード、振込み可)
料金(つど払い)	・1乗車500円 ・アプリ予約で1乗車450円 ・アプリ予約+Express Pool型利用で1乗車400円
関係機関	しずおかMaaSコンソーシアム (幹事団体:静岡鉄道(株)、静岡市、静岡県タクシー協会等、オブザーバ:静岡国道事務所、静岡運輸支局) 一般社団法人 静岡TaaS

■乗降スポットの配置方法の検討

〇交通渋滞や交通事故の状況を踏まえ、安全な乗降スポット(Express Pool)を配置

〈交通渋滞や交通事故の発生状況〉

〈安全な乗降スポット(Express Pool)〉

出典: 速度、ヒヤリハット・・・ETC2.0データ (R3.10月、平日) 死傷事故発生箇所・・・ITARDAデータ (R2生活道路)

※エリア内に33箇所



〈乗降スポット(トクスポ)〉

・令和4年度の社会実験では、配置した乗降スポットを「トクスポ」と名称し、「トクスポ」で乗降する利用者は最大100円の割引サービスが受けられる取組を実施。

トクスポ

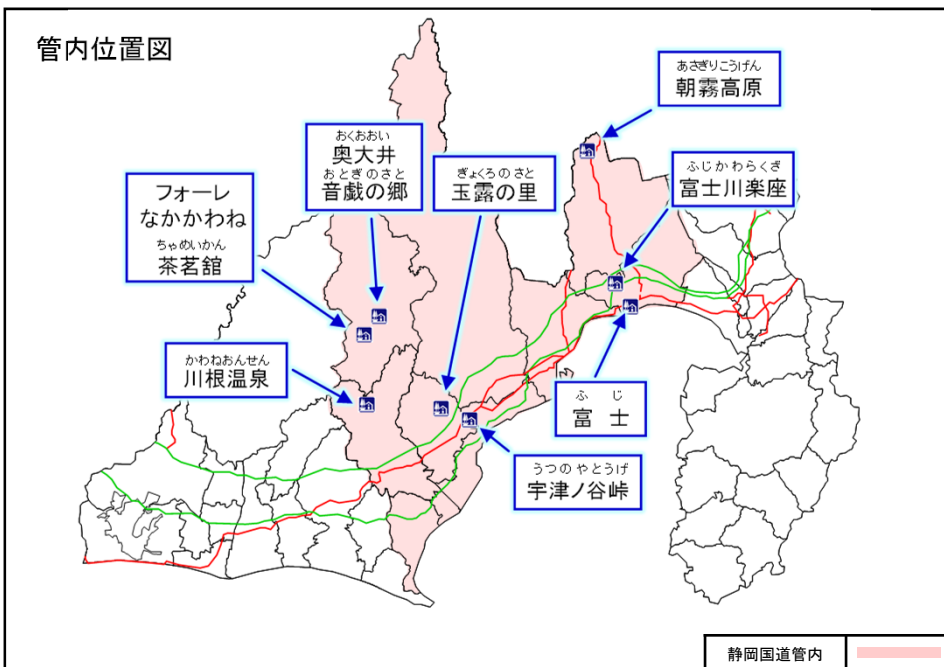
しずおかMaaS のりあいタクシー社会実験
2023年1月16日(月)～6月30日(金)

6 「道の駅」の機能強化

○「道の駅」は地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設

○令和5年2月現在、全国で1,204駅、管内で8駅が登録

管内位置図



国道1号宇津ノ谷峠(静岡側)



国道139号朝霧高原



国道1号宇津ノ谷峠(藤枝側)



国道1号富士

路線名	駅名	設置者	管理運営		駐車マス			登録年月日	整備形式
			管理運営者	契約方法	普通車	大型車	身障者用		
国道1号	ふじ 富士	富士市	富士川まちづくり(株)	指定管理	71	21	2	H5.4.22	一体型
国道1号	うつのやとうげ 宇津ノ谷峠	静岡市	(株)天神屋	委託	46	27	4	H10.4.17	一体型
		藤枝市	(有)ホームタウンよこぞえ	委託	40	5	2		
国道362号	ちやめいかん フォーレなかかわね茶茗館	川根本町	川根本町	直営	36	3	2	H10.4.17	単独型
主要地方道川根寸又峡線	おくおおいおとぎさと 奥大井音戯の郷	川根本町	川根本町	直営	85	3	3	H10.4.17	単独型
国道139号	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	(株)富士山	委託	94	12	4	H11.8.27	一体型
主要地方道藤枝天竜線	かわねおんせん 川根温泉	島田市	(株)川根町温泉	指定管理	78	4	2	H11.8.27	一体型
主要地方道富士川身延線	ふじかわらくぎ 富士川楽座	富士市	富士川まちづくり(株)	指定管理	257	9	4	H11.8.27	一体型
(県)静岡朝比奈藤枝線	ぎよくろさと 玉露の里	藤枝市	(株)静鉄リテイリング	指定管理	91	2	1	H11.8.27	一体型

6 「道の駅」の機能強化

○地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、直轄「道の駅」における防災倉庫新設などの防災機能の強化、子育て応援等を推進するとともに、地方の「道の駅」に関する取り組みを支援

路線名	駅名	設置者	防災機能					子育て支援			整備形式	
			地域防災計画への位置づけ	BCPの策定	大規模災害時の協定	主な防災施設	防災訓練	授乳コーナー	屋根付き優先駐車スペース	おむつのばら売り		
国道1号	ふじ富士	富士市	一時滞在施設	—	—	—	—	—	有	有	対応	一体型 (静岡国道)
国道1号	うつのやとうげ 宇津ノ谷峠	静岡市	一次避難地 (静岡市)	—	有	非常用発電機 給水設備	実施	有	有	有	対応	一体型 (静岡国道)
		藤枝市	緊急避難場所 (藤枝市)	—	無	非常用発電機 給水設備	—	無	—	—	—	
国道139号	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	防災拠点施設	有	有	非常用発電機 給水設備	実施	有	有	有	対応	一体型 (静岡国道)

防災機能強化の取組

◆非常用発電機（道の駅「宇津ノ谷峠」）
災害時の駐車場やトイレの照明用の電力、
情報提供施設の電力を確保する。



◆給水設備（道の駅「宇津ノ谷峠」）
災害時には、手洗い水やトイレ洗浄水として
利用する。



◆BCP策定・防災訓練の実施
（道の駅「朝霧高原」）

災害時に行うべき行動や、災害時に備えて平常時に行うべき行動をあらかじめ整理し取り決めておく、BCP(Business Continuity Plan = 事業継続計画)の策定、及びBCPに基づく防災訓練の実施など、災害時の機能確保に向けた準備を着実に実施。



◆災害用トイレ（道の駅「朝霧高原」）
災害時には、マンホールの上に災害用トイレを
設置し、屋外トイレを確保する。



◆救助部隊の拠点
（道の駅「朝霧高原」）
災害時には、復旧車両や各種災害
対策車両が集結する拠点となる。



子育て応援の取組

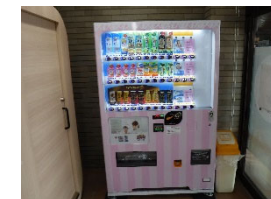
◆24時間利用可能なベビーコーナー
（道の駅「宇津ノ谷峠」）



◆妊婦向け屋根付き駐車スペース
（道の駅「富士」）



◆おむつのばら売り等の自動販売機
（道の駅「朝霧高原」）



6 「道の駅」の機能強化

○道の駅「富士」

○道の駅「富士」は、休憩機能強化及び道路利用者等の一時滞在施設としての防災機能強化を目的に、駐車場の拡張、防災施設の整備を実施中

○令和4年度は地質調査を実施し、令和5年度は、給水施設、非常用自家発電施設の設計を実施



駐車場の拡張

平常時において駐車マス数が不足しているため、駐車場を拡張

【上り線(既存)】

- ◆ 駐車場・車路面積 : 約3,500m²
- ◆ 駐車場(小型) : 52台
- ◆ 駐車場(大型) : 8台
- ◆ 駐車場(身障者用) : 1台
- ◆ 駐車場(二輪車) : 7台

【下り線(既存)】

- ◆ 駐車場・車路面積 : 約2,500m²
- ◆ 駐車場(小型) : 19台
- ◆ 駐車場(大型) : 13台
- ◆ 駐車場(身障者用) : 1台
- ◆ 駐車場(二輪車) : 10台

中央分離帯の改良

道の駅「富士」前面の国道1号に転回可能な中央分離帯を導入(R3.8.3完成)



防災施設の整備

道の駅「富士」が、富士市地域防災計画において、災害時における道路利用者等の一時滞在施設に位置づけられたことを踏まえ、必要な防災施設を整備
防災施設: 給水施設、非常用自家発電施設、防災トイレ、防災倉庫等



給水施設イメージ



非常用自家発電施設イメージ

6 「道の駅」の機能強化

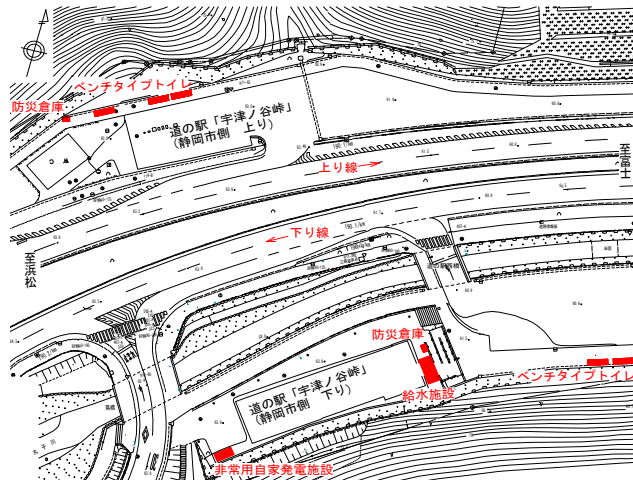
○道の駅「宇津ノ谷峠」

○道の駅「宇津ノ谷峠」は、休憩機能強化及び道路利用者等の一時避難地(静岡市)および緊急避難場所(藤枝市)としての防災機能強化を目的に、防災施設の整備を実施

○令和5年度は、防災施設を活用した防災訓練を継続実施するほか、BCP案の作成等を実施



防災施設の整備



防災施設を活用した防災訓練(令和5年2月の実施状況)

- 日 時: 令和5年2月16日(木)9:00~12:00
- 場 所: 道の駅「宇津ノ谷峠(静岡市側)上下線」
- 参 加: 静岡国道事務所、静岡市、藤枝市
(株)天神屋、(有)ホームタウンよこぞえ



人的被害・設備被害報告



衛星携帯電話操作訓練



浄水施設操作訓練



ベンチタイプトイレ操作訓練

6 「道の駅」の機能強化

○道の駅「朝霧高原」

○道の駅「朝霧高原」は、南海トラフ巨大地震発生時の広域応援部隊の進出、広域物資の輸送の防災拠点として防災機能強化を実施中

○令和4年度は地質調査を実施し、令和5年度は、防災倉庫・雪寒基地の設計を実施



広域的な防災拠点としての施設機能・体制の評価

	必要機能・体制	評価	対応
施設(ハード)	耐震化	○	
	無停電化	発電量の増強、72時間対応が必要	⑤
	通信設備	○	
	貯水タンク(給水施設)	貯水量の増強が必要	③
	防災トイレ	○	
	ヘリポート	○	
	防災倉庫	防災拠点としての運営資材の備蓄倉庫が必要	①
	進出拠点(警察) 広域物資輸送拠点(代替拠点)	防災拠点自動車駐車場制度を活用した活動スペースの確保が必要	②④
雪寒基地	除雪機械の庫車、会議スペース、作業員の詰所が必要	①	
体制(ソフト)	BCP策定	○	
	災害協定	○	
	防災訓練	○	
	感染症対策	○	

防災道の駅「朝霧高原」における防災機能の強化方策



7 道路管理 ～安心して道路を利用させていただくために～

○日常管理

- 静岡県富士市から島田市までの国道1号及び静岡県内の52号、139号の道路を管理
- 安全・安心な道路サービスの確保に向け、道路巡回、緊急作業、除草、剪定、路面清掃、照明・設備の保守など日常管理を実施



【道路巡回】



【緊急作業 落下物回収】



【歩道除草】



【街路樹の選定作業】



【機械による路面清掃】

路線名	管理区間		延長 (km)
	起点	終点	
1号	富士市中里字大角2515番1	島田市野田字鎌研1603番1	(23.4) 92.4
52号	静岡市清水区興津中町字弁天前622番	山梨県南巨摩郡南部町大字万沢字境川官有無番地	19.5
139号	富士市中丸字木ノ市28番3	富士宮市根原字豊住176番1	36.9
計			(23.4) 148.7

路線名	管内延長内訳			
	静岡国道維持出張所	延長 (km)	富士国道維持出張所	延長 (km)
1号	新富士川橋右岸から島田市野田	(23.4) 80.5	富士市中里から新富士川橋右岸	11.9
52号	静岡市清水区興津中町から山梨県南巨摩郡南部町	19.5	—	—
139号	—	—	富士市中丸から富士宮市根原	36.9
計	—	(23.4) 99.9	—	48.8



7 道路管理

○道路管理車両

○日常の道路管理、冬期の道路管理や災害対応時の車両を保有・運用

- ・道路巡回車両（パトロールカー）・排水管清掃車・路面清掃車・散水車・凍結防止剤散布車プラウ付
- ・除雪グレーダー・対策本部車・照明車・衛星通信車

保有する道路管理車両



7 道路管理

○道路情報センター

○道路巡回からの情報に加え、道路監視用カメラ等で24時間365日、常に道路情報を収集し、道路情報板等により速やかな情報発信をすることで、的確な道路管理を実現

○AI技術を活用した画像解析技術を用いた交通障害検知システムの導入を推進

道路情報センターの主な設備

道路監視モニター

(県警本部、静岡市との相互提供)

カメラ制御端末

交通量観測装置端末

道路情報板制御端末 等

道路情報センターの主な業務

○以下による情報収集

道路巡回

道路監視用(CCTV)カメラ(245基)

雨量計(4箇所)、凍結検知装置(2箇所)

交通量観測装置(10箇所)

関係機関や道路緊急ダイヤル等からの情報提供 等

○以下による情報発信

道路情報板(45基)、津波情報板(3基)

ラジオ再放送設備(9箇所)

公式ツイッター(@milt_shizukoku)

道路情報提供システム(<https://its.cbr.mlit.go.jp>)

道路交通情報センターへの情報提供 等



道路AI検知システムの検出事例



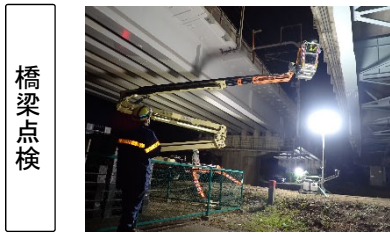
停止車両による滞留発生の検出状況
(国道1号藤枝バイパス原トンネル)

7 道路管理

○道路構造物の点検・診断と補修

- 道路構造物の点検・診断は、点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルの第1歩
- 施設の高齢化や自然環境(雨、風など)、外的要因(大型車交通量など)等による施設の損傷を早期に発見・把握し、道路利用者の安全を図るための必要な措置に繋げるため、5年に1度の頻度で全ての橋梁、トンネル等の定期点検を近接目視により実施
- 点検により発見された損傷を補修し、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害防止及び橋梁の長寿命化を図るため補修を実施

■定期点検の実施項目 令和5年度点検対象橋梁: 国道1号新富士川橋、国道1号城北高架橋等



橋梁点検

スパイダー型ブームリフトによる点検



トンネル点検

覆工背面空洞電磁波レーダー探査



特定道路土工点検



構造物点検

27

■補修の事例 令和5年度補修対象橋梁: 国道1号蒲原高架橋、国道52号興津橋等



支承補修



断面補修

■管内の主要な道路施設

	単位	数量
橋梁	橋	600
トンネル	箇所	15

管内の特徴: 沿岸部の約30%が橋梁
 ⇨塩害に対する備えが重要



7 道路管理

○道路メンテナンスの推進

- 静岡県内においては、各道路管理者が管理する橋梁のうち、建設後50年を経過する橋梁は約4割。高度経済成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は約8割となる見込み
- 点検の結果、橋梁の約1割、トンネルの約3割が早期に措置を講ずるべき状況(判定区分Ⅲ)であり、修繕も含めた効率的なメンテナンスサイクルの推進が必要
- 静岡県道路メンテナンス会議を通じて自治体の支援を実施

■道路メンテナンス会議における自治体の技術力向上支援

○地域住民と施設の統廃合の合意形成に向けて

PI(パブリック・インボルブメント)講習会の開催

○道路管理者の技術力向上のため点検ミニ講習会、

橋梁補修技術セミナーの開催

○応募が少ない土木系学生採用に向けた採用情報の合同発信

○道路施設の現状と定期的な点検・修繕の必要性について

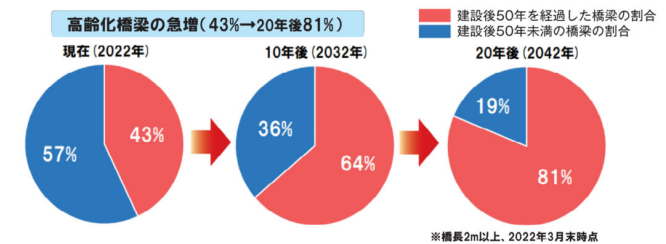
住民の理解を促進するパネル展の開催



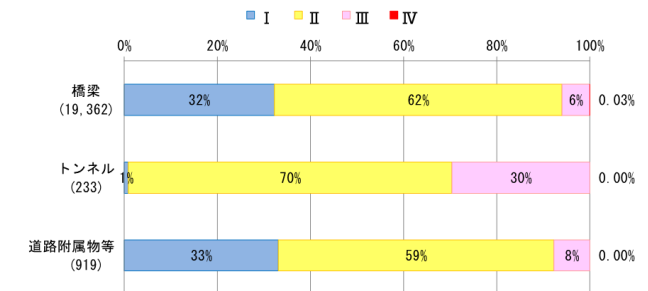
○PI講習会の開催



○点検ミニ講習会等の開催



< 2 巡目(2019~2021年度)の判定区分割合(全道路管理者合計) >



※()内は、2019~2021年度に点検を実施した施設数の合計。
 ※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

7 道路管理

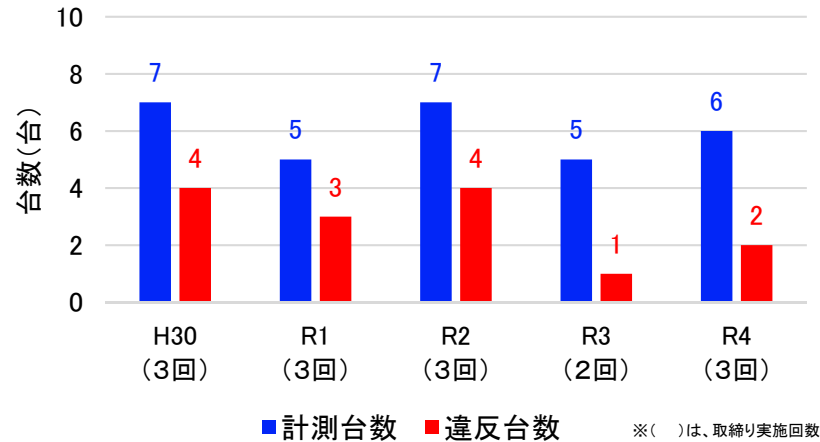
○特殊車両

- 過積載車両の通行は橋梁などの道路施設に損傷を及ぼすことから、特殊車両の現地取締り実施により、大型車両の通行の適正化を推進
- 特殊車両通行確認制度(令和4年4月導入)により、特殊車両通行許可の審査に掛かる事務手続きの効率化・簡略化を推進

特殊車両現地取締り

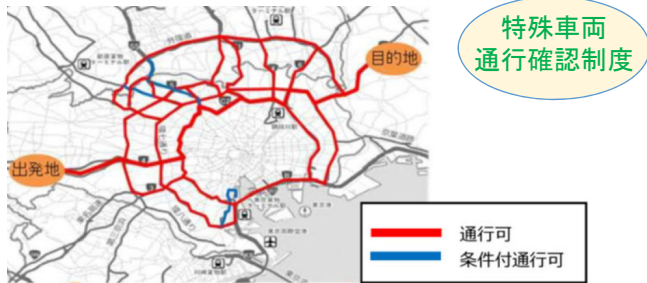


■特殊車両現地取締りの推移



29

特殊車両申請処理件数、審査日数



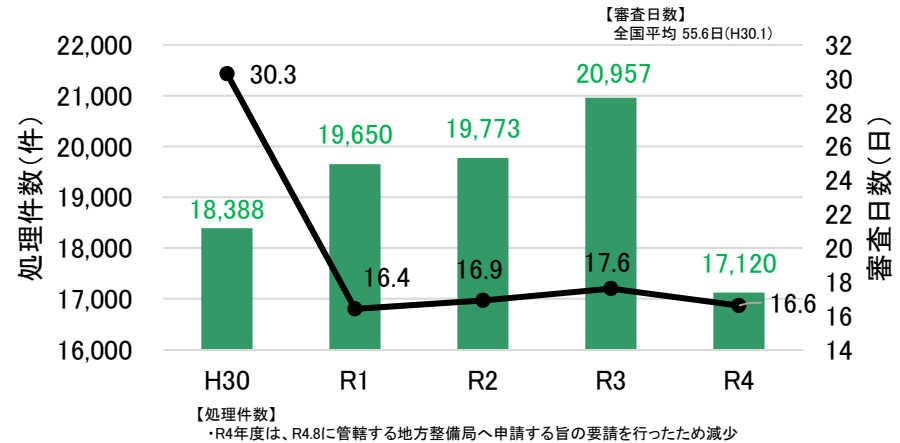
- ① 審査に時間がかかる
 - ・申請～許可まで約1ヶ月※
- ② 申請手続きが煩雑
 - ・経路を細かく指定
 - ・都度、車両諸元を入力
- ③ 許可経路が固定的
 - ・1経路ごとに許可



- ① 審査が**早く**
 - ・システムで即時確認
- ② 申請手続きが**簡単**
 - ・システムで経路を自動検索
 - ・車両登録は最初の1回のみ
- ③ 許可経路が**柔軟**に
 - ・複数経路を一度に確認

※令和元年度実績

■特殊車両申請処理件数、審査日数の推移

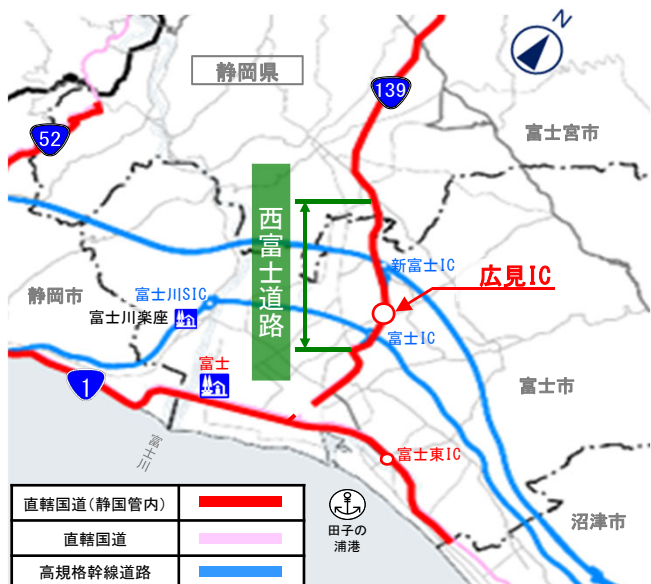


7 道路管理

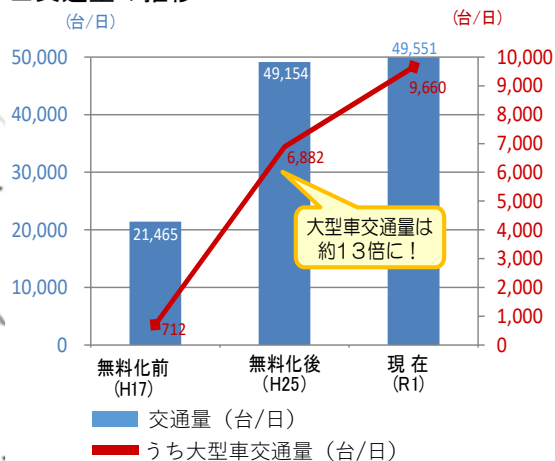
○国道139号西富士道路舗裝修繕

にしふじ
○西富士道路においては、平成24年4月の無料化、新東名の開通以降、大型車を含む交通量が大幅に増加し舗装の劣化が進行したことから、引き続き路盤を含めての舗装打換えを実施。実施にあたっては、夜間工事ではなく昼夜連続規制による集中工事とすることで、作業日数を短縮するとともに、コストを削減

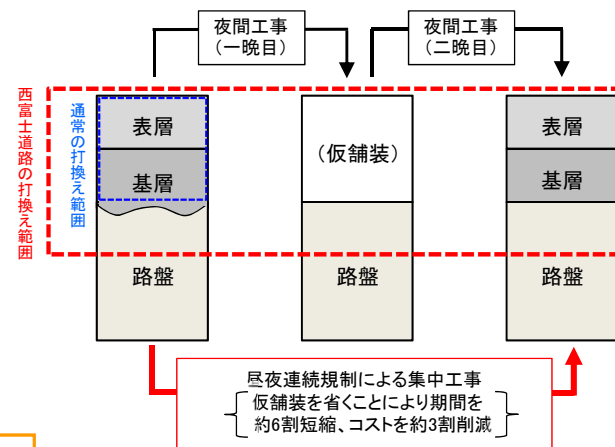
■位置図



■交通量の推移

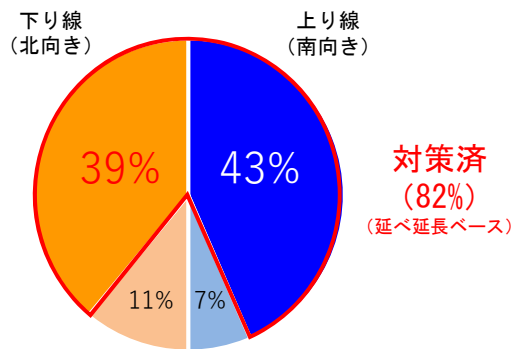


■昼夜連続規制による集中工事のイメージ



30

■R5工事完了時点(見込)



■事前



■事後



7 道路管理

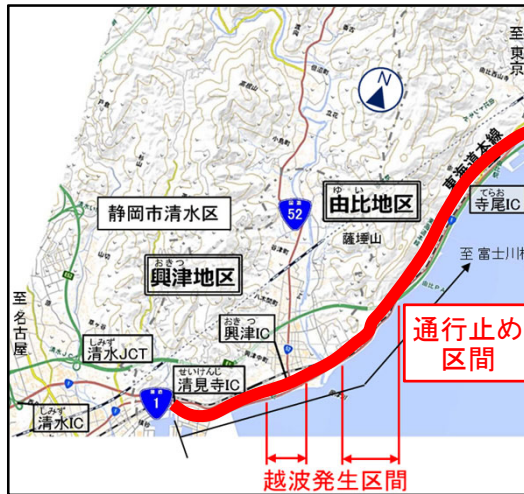
○管内の各規制区間等

○静岡国道事務所管内には、事前通行規制区間(雨量規制区間)・越波・強風による規制区間・降雪時、予防的に通行止めする区間のほか、南海トラフ地震・富士山噴火・浜岡原子力発電所圏域に関わるエリアがある

事前通行規制区間(雨量規制区間)



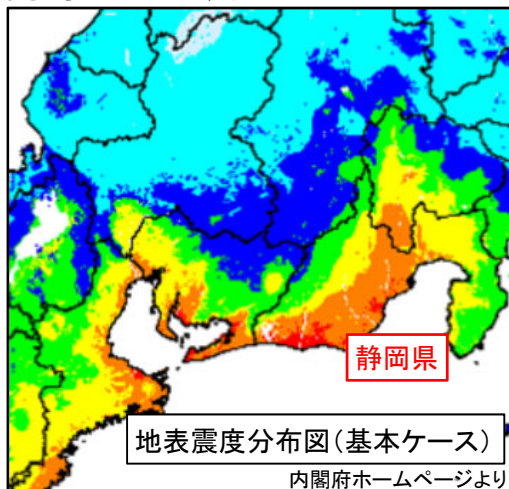
越波・強風による規制区間



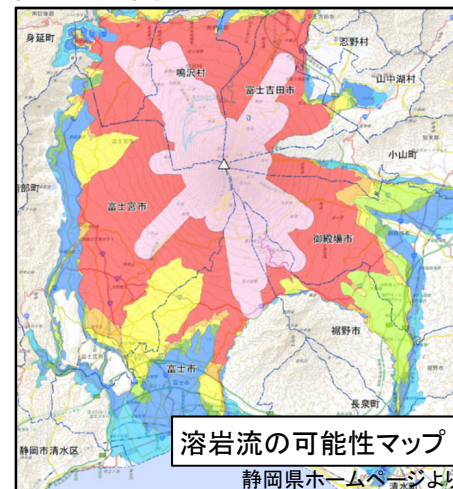
降雪時、予防的に通行止めする区間



南海トラフ地震



富士山噴火



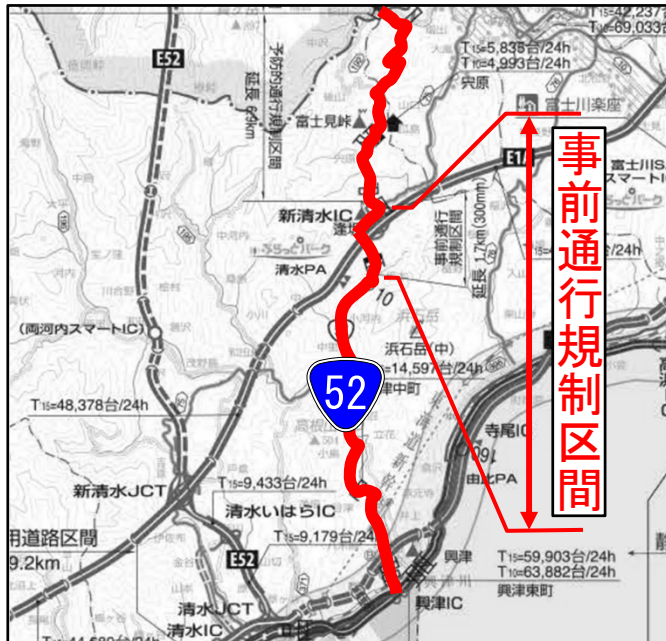
浜岡原子力発電所圏域



8 災害への備え

○事前通行規制区間(雨量規制区間)における対策

○国道52号は、大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について過去の記録などを元に事前通行規制区間(雨量規制区間)を定め、連続降雨量400mmで「通行止」の規制を実施し、道路を利用者の安全を確保



■事前通行規制区間

国道52号

延長: 1.7km

基準雨量: 400mm

○近年の通行止め実績

年月日	雨量	通行止め時間
令和4年 9月24日	345mm	6時間20分
令和3年 7月3日	500mm	11時間30分
令和元年10月12日	407mm	17時間5分



平成26年台風18号による被災箇所の復旧
(平成28年3月完了)



通行止め訓練

8 災害への備え

○越波・強風に伴う規制

- 国道1号の富士由比バイパスと静清バイパスの区間は、駿河湾に面する海岸沿いに並行し、台風時等には越波により通行規制が発生
 - 令和元年10月の台風19号上陸時には、富士川橋～清見寺IC間を、越波により損傷した防護柵の応急復旧や清掃の時間を含め、上り27時間、下り35時間に及ぶ通行止めを実施※
- (※東名:上り54時間、下り68時間、新東名:19時間)

令和元年10月台風19号による被災状況



越波状況

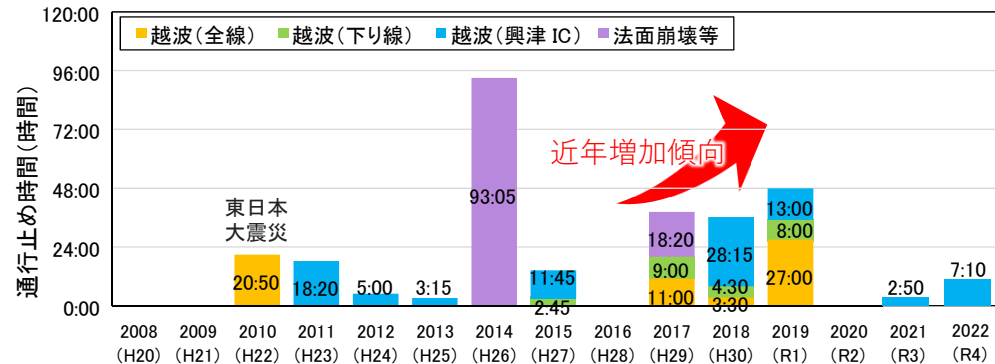


動画 (Twitter)



越波による被災

国道1号由比興津地区 越波等による通行止時間の推移



8 災害への備え

○由比・興津地区の越波対策

- 防災・減災、国土強靱化の取り組みの中で、国道1号に越波に伴う飛散物の打ち上げを防止する越波飛散防止柵の整備を平成30年度から実施し、令和4年度末に対策区間約3.1kmの設置が完了
- 令和5年度は迅速な安全確保及び少人数での規制対応を行うために、遠隔操作が可能な遮断機の設置を推進



【遮断機イメージ】



【越波飛散防止柵】



8 災害への備え

○雪氷への対応

- 積雪による交通障害、交通事故を未然に防ぐため、凍結防止剤の散布、通行車両のタイヤチェック、除雪作業を実施
- 大規模な交通障害を回避するため、除雪能力を超える降雪が見込まれる場合は、国道や高速道路を早めに通行止めするとともに、広域迂回を促して集中的な除雪作業を実施することで、通行止め時間を短縮



【凍結防止剤散布による凍結防止】



【タイヤチェック状況】



【除雪車による除雪状況】



【降雪時、予防的に通行止めする区間】



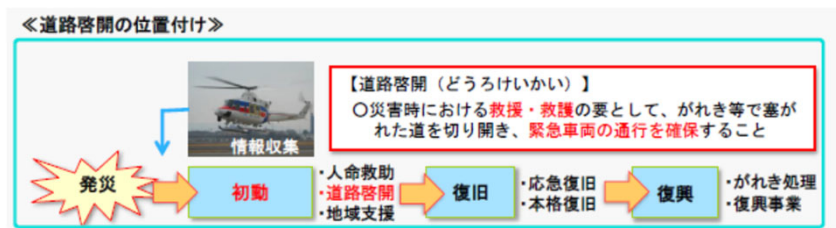
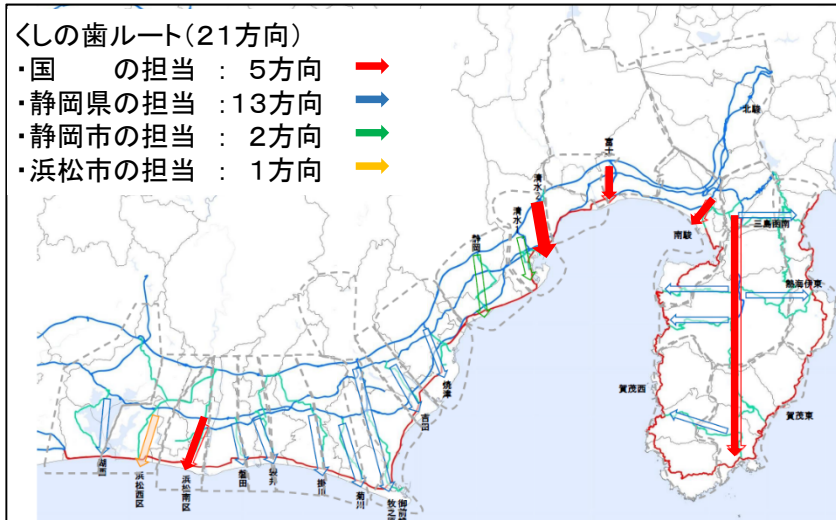
【広域迂回のイメージ】

【Twitter】による広報

8 災害への備え

○南海トラフ巨大地震に対する備え

○巨大地震発生時における道路啓開オペレーション「中部版くしの歯作戦」を平成24年度から検討
 発災時に「くしの歯作戦」が確実に『機能する』ため訓練等により検証し、課題を抽出



- Step1 : 広域支援ルート(くしの軸)の確保と道路啓開体制の確立
- Step2 : 人命救助のためのくしの歯の確保
- Step3 : 沿岸部ルートの確保
(人命救助、物資輸送、拠点へのアクセス)

訓練や啓発活動による課題の抽出・検証

重機を用いた車両移動訓練

R3年度藤枝地区実動訓練

インフラ事業者と建業会の連携による電柱の撤去訓練

富士市道路啓開勉強会

自治体職員や災害協定業者に道路啓開に関する啓発活動を実施し、災害対応力を向上

初動対応訓練

中部方面本部(県)

Web中継方式で中部方面本部(県)へ牧之原市・国・県土木を結び全ての情報を共有
 情報伝達や発信時の課題を抽出

R5年度は富士・富士宮ブロックで複合的災害に伴う総合啓開訓練を実施予定

8 災害への備え

○ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

○TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施

至近5年の活動実績

	発災年月	災害名	主たる活動場所	派遣期間	静国からの延べ派遣人数（実数）
1	令和元年10月	令和元年台風19号災害	岩手県下閉伊普代村	令和元年10月19日～25日	28名（4名）
2	令和2年7月	令和2年7月豪雨災害	岐阜県下呂市	令和2年7月10日～16日	28名（4名）
3	令和3年1月	令和3年1月豪雪災害	富山県南砺市	令和3年1月10日～11日	2名（1名）
4	令和3年7月	令和3年7月熱海市伊豆山地区土砂災害	静岡県熱海市	令和3年7月11～14日	4名（1名）
5	令和4年9月	令和4年台風15号災害	静岡市清水区・葵区	令和4年9月24日～12月28日	413名（38名）

令和4年台風15号災害では、下記の対応を主に実施

被災箇所調査



被災状況調査①



被災状況調査②

孤立集落解消支援



工事用道路築造により歩行者通路を確保



応急組立橋架設により交通を完全に確保

路面清掃支援



市道に堆積した土砂排除を支援(9/30)



市道に堆積した土砂排除を支援(10/1)

その他支援



散水車による給水支援



市立清水病院への給水支援

8 災害への備え

○防災点検・対策の推進

- 豪雨・地震等による災害を防止するため、道路法面の安定性等について詳細な点検を行い、今後の道路防災対策に反映していくために道路防災点検を実施
- 点検の結果、対策が必要な箇所については、危険度に応じ必要な工事を実施
 国道1号^{おかべ}岡部バイパスの静岡市駿河区^{するが}赤目ヶ谷^{あかめがや}地区において、法面防災工事を実施中

	路線	判定(管理レベル)	
		Ⅲ・Ⅳ	Ⅰ・Ⅱ
静岡維持(出)	国道1号	静岡市駿河区赤目ヶ谷: 1 藤枝市時ヶ谷: 1 島田市東光寺: 1	81
	国道52号	富士宮市内房: 3 静岡市清水区央原: 3 静岡市清水区小河内: 2	75
富士維持(出)	国道1号	—	1
	国道139号	—	16
箇所数合計		11	173

令和5年度の主な事業内容
◆ 国道1号 静岡市駿河区赤目ヶ谷：仮栈橋工(進入路工)
◆ 国道52号 静岡市清水区小河内：土石流補足工



【施工状況(国道1号赤目ヶ谷)】 令和5年2月撮影



【施工状況(国道1号赤目ヶ谷)】

令和4年2月撮影

9 交通安全の推進

○事故ゼロプラン

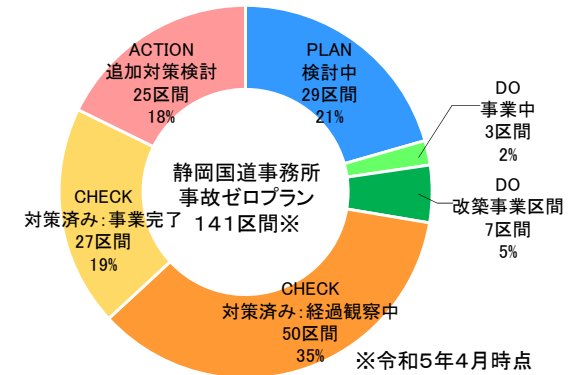
○事故データや地域の声に基づき交通事故の危険性が高い区間を「事故危険区間」として選定し、事故要因に即した対策を重点的・集中的に講じることにより効率的・効果的な交通事故対策を推進

○単に選定区間の対策を実施するだけではなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで成果を上げていくPDCAサイクルで実施

対策立案(P/Plan)～対策実施(D/Do)～効果評価(C/Check)～追加対策検討(A/Action)



◀静岡管内の事故ゼロプラン区間数▶



令和5年度の主な事業内容

- ①【国道1号 丸子地区交差点改良】 工事**
 静岡県静岡市駿河区丸子 (R4予算継続)
 <対策内容>・直進左折車線新設
 ・注意喚起看板等
- ②【国道1号 黒金町地区通行空間整備】 工事**
 静岡県静岡市葵区黒金町
 <対策内容>・自転車歩行者道整備
 ・バス停車帯整備等
- ③【国道139号 広見IC交差点改良】 調査**
 静岡県富士市伝法
 <対策内容>・下り線(北向き)オフランプ2車線化
- ④【国道139号 阿幸地交差点改良】 調査**
 静岡県富士宮市阿幸地
 <対策内容>・交差点のコンパクト化

9 交通安全の推進

○生活道路対策

- 生活道路における人優先の安全・安心な通行空間整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスを組み合わせて交通安全の向上を図る『ゾーン30プラス』が令和3年よりスタート
- 令和3年度には、交通分析結果の提供等の支援を行ってきた、静岡市清水区鶴舞町地区が『ゾーン30プラス』に登録。令和4年度は、藤枝市にて地元意見を反映した生活道路対策を推進するため、住民参加型ワークショップに対する技術的支援を行ったほか、静岡市・焼津市からの要請に応じ、交通分析結果を提供
- 令和5年度は、引き続き藤枝市のワークショップに対する技術的支援を行うとともに、自治体からの要請に応じて、『ゾーン30プラス』候補地区に対する交通分析結果を提供予定

令和4年度の取り組み(一例:藤枝市岡部町三輪地区に対する支援)
 ・ワークショップへの技術的支援として、ワークショップの企画・資料作成・当日運営補助・意見取りまとめ・広報チラシ作成等を実施

■第1回ワークショップ(2022/9/30) 議題:地域の交通課題の洗い出し



地域の交通課題に関する意見交換



埼玉大学久保田教授による生活道路対策に関する講演

生活道路の安全対策 (静岡県藤枝市岡部町三輪地区)

三輪地区だより Vol.1

生活道路対策エリア「三輪地区」の安全対策について
 あらためて検討を始めた。

- 『三輪地区』は以前から安全対策に取り組んでいますが、生活道路対策の着目度^{※1}が上がっている中、『三輪地区』では、あらためて現状を踏まえた必要な安全対策の検討を始めました。
- 今回は、地元住民の皆様のお声をお聞きした上で、本当に「困っているところ」「危ないと感じているところ」に対し、適切な安全対策を実施していきたくと考えています。
- そのため、今回は地元住民の方から直接意見をいただくことができる「ワークショップ」という手法を採用し、地区の課題や対策内容についてご意見をいただきます。
- ワークショップは計3回実施予定で、第1回を開催しましたので、ご報告します。

【※1】ゾーン30プラスの取組
 これまで、生活道路の安全対策として、国土交通省が定める物理デバイス(ハンク、道路等)の設置等を、数回でゾーン30の範囲による自治体取組を、それぞれ行っていました。

【※2】ワークショップとは
 ワークショップとは、地域住民のみなさんに参加いただき、自治体の方と対等に話し合いながら地域の課題を洗い出し、解決策を一緒に考えることのできる場です。

【※3】今後の予定
 第2回ワークショップでは、第1回で頂いた意見(現状の課題)をもとに、事務局が示す対策方針や対策内容について、ご意見をいただく予定です。開催時期は令和5年1月を想定しています。

藤枝市 交通安全課

ワークショップの概要・結果をちらしにて回覧

■第2回ワークショップ(2023/2/1) 議題:対策メニュー(案)への意見出し



対策メニュー(案)に関する意見交換

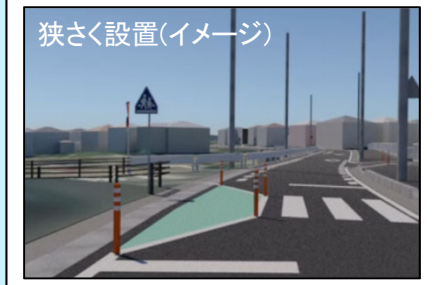


対策をイメージしやすくするため、対策メニュー(案)の3次元モデル(動画)を、地域住民の方に提示



3次元モデル

現状



狭く設置(イメージ)

10 無電柱化の推進

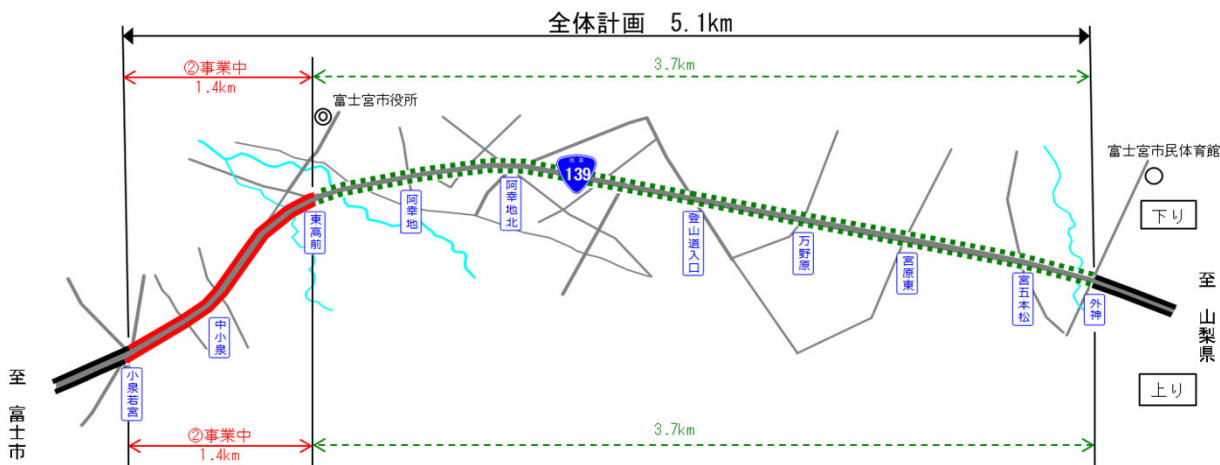
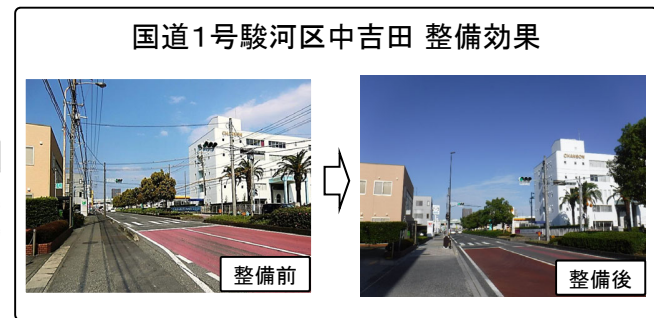
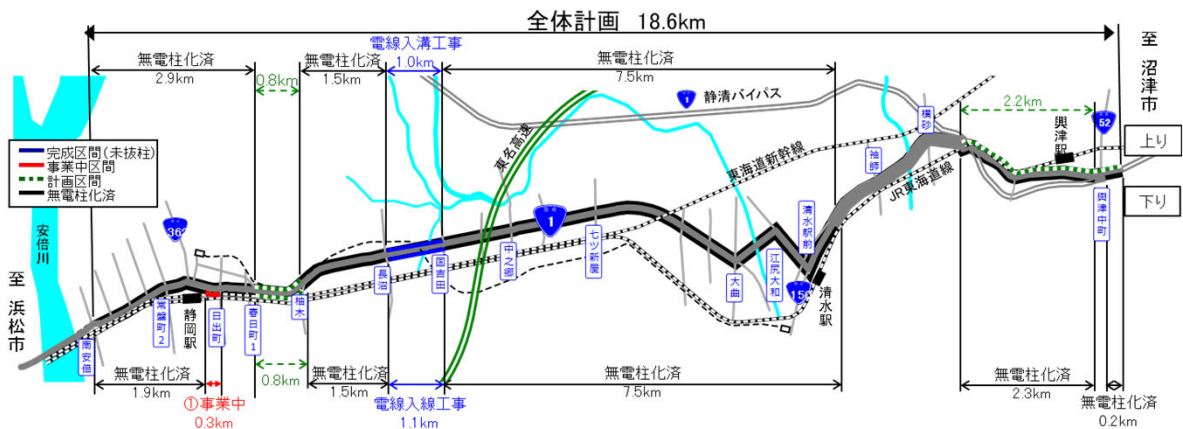
○令和5年度の主な事業箇所

○①防災、②安全快適、③良好な景観形成を目的に道路の地下空間を活用し、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝の整備により、無電柱化を推進
 ○令和5年度は2か所において調査・設計・工事を推進

①国道1号 静岡市葵区栄町さかえちよう～葵区黒金町くろがねちよう (L=0.3km 下り)の本体工事、電力・通信設備工事を推進

②国道139号 富士宮市小泉こいずみ (L=1.4km 上り・下り)の調査・設計を推進

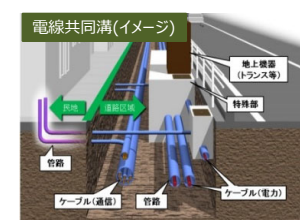
41



② 《現地状況》



イメージ図



【参考】道路法第37条に基づく道路の占用制限について

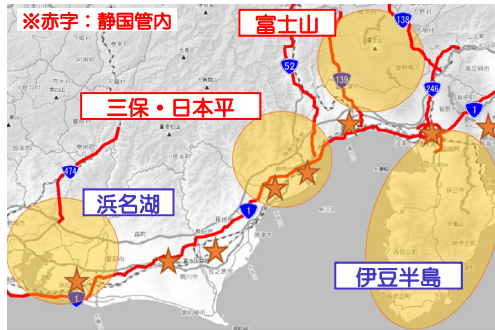
・緊急輸送道路においては電柱の新設が禁止されています。
 静岡国道事務所が管理する国道1号、52号、139号においても電柱の新設が禁止されています

11 標識改善

- 訪日外国人旅行者の増加や道路のネットワーク強化に対し、道路標識がわかりやすいものになるよう、令和2年度までに道路標識改善の「取組方針(重点整備エリアと対象路線)」を策定
- 令和3年度より標識改善を実施し、令和4年度は7箇所を改善
- 令和5年度も引き続き、標識改善を実施

■標識改善取組概要

対象とする観光地において、県内・外の観光客が多く訪れる観光施設等を内包する具体的な重点整備エリア(富士山、浜名湖、三保・日本平、伊豆半島)の範囲と、範囲内の具体的な対象路線を設定

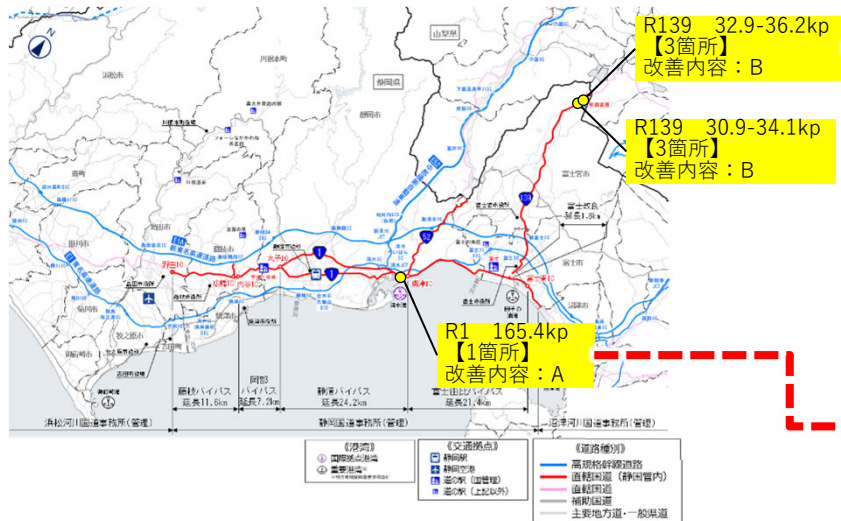


- : 主要な観光地
- ★: 主要な交通結節点(富士山静岡空港・清水港・新幹線駅)

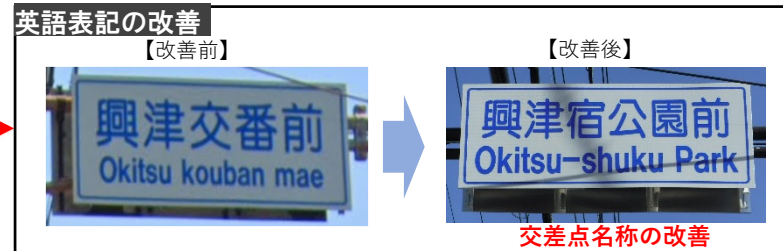
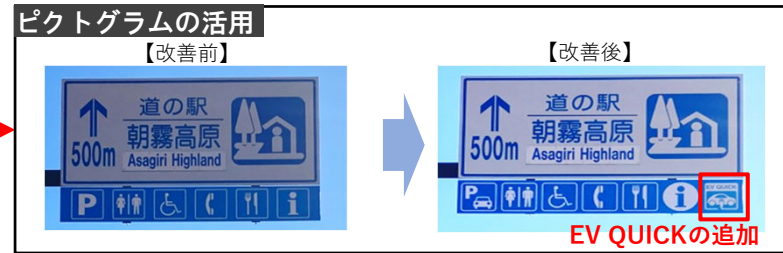
- 改善内容は以下の4種類
- A: 英語表記の改善
 - B: ピクトグラムの活用
 - C: 通称名表記の統一
 - D: 観光エリアへの案内誘導強化

図-重点整備エリア

■令和4年度標識改善箇所



■改善事例



11 標識改善

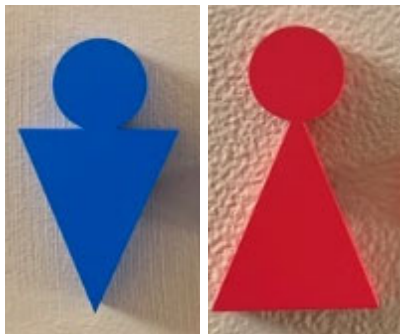
○立体ピクト

- 平成6年にハートビル法、平成25年に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が制定され、社会的障壁の除去に関する必要かつ合理的な配慮を的確に実施するための環境整備が急務
- 公的トイレについては視覚障害者からも不自由を感じるとの声があったため、重点的に検討を実施
- 体験会等を通して意見を収集し、立体ピクトを直轄「道の駅」等の公共トイレを中心に設置
- 引き続き、立体ピクト設置の推進および取り組み周知を行う

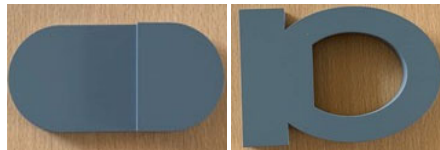
■立体ピクト

一般的なピクトサインに厚みを付加して視覚障害者の方も触れることで情報や注意の知覚を補助するもの

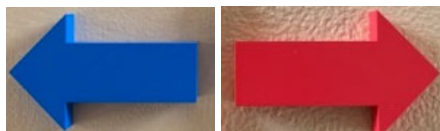
男女入口を案内



個室の和式・洋式を案内

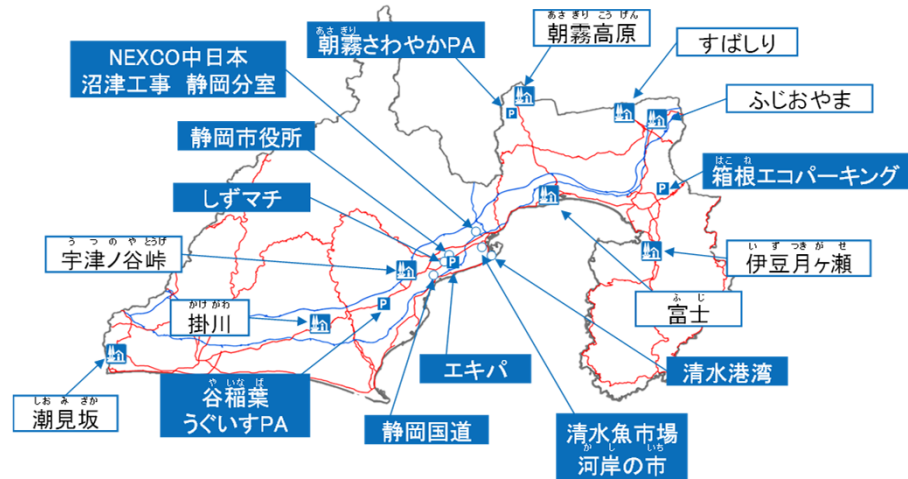


入口の方向を案内



■立体ピクト設置箇所

静岡県内において直轄「道の駅」等の公共トイレを中心に計18か所に設置 (R4.1時点)



■立体ピクトの体験会

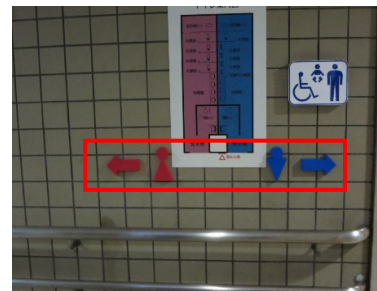
視覚障害者の方に実際に使用いただき、感触や設置位置、デザイン等について意見を収集



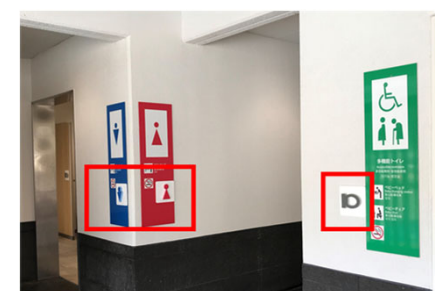
令和2年11月27日(金) エキパトイレ



令和3年7月22日(祝) 札ノ辻クロスホール



エキパ(静岡駅地下駐車場)



道の駅「宇津ノ谷峠」(藤枝側)

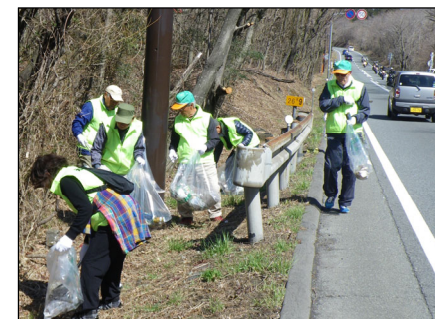
12 住民参加型の道路管理

○ボランティア・サポート・プログラム

○ボランティア・サポート・プログラムとは、直轄国道を対象とする道路の美化・清掃プログラムであり、ボランティア活動を行う実施団体が、道路の簡単な清掃や美化活動を行うことを協定で確認し活動を実施する。

■静岡国道事務所管内で活動中の団体（17団体）

路線名	団体名	協定締結日	活動場所	活動内容
1	大岩4丁目町内会	H14.8.19	静岡市葵区大岩4丁目地先	・歩道及び植栽帯の清掃(緑化)、情報提供
1	(株)ニッケーコー	H19.11.22	静岡市駿河区丸子新田地先	・歩道及び植栽帯の清掃(緑化)、情報提供
1	藤田電気(株)	H22.12.15	静岡市葵区黒金町～駿河区馬淵1丁目地先	・歩道及び植栽帯の清掃(緑化)、情報提供
1	静岡県設備協会	H25.10.17	静岡市葵区長沼地先	・歩道及び植栽帯の清掃(緑化)、情報提供
1	セイトー(株)	H27.3.30	静岡市駿河区馬淵1丁目地先 ～葵区南安倍1丁目地先	・歩道及び植栽帯の清掃(緑化)、情報提供
139	富士山朝霧高原景観管理協議会	H27.7.28	富士宮市猪之頭地先～富士宮市根原地先	・歩道等の清掃、除草、情報提供
139	えんの会	H28.7.4	富士宮市内野地先～富士宮市根原地先	・歩道、路側帯、法面の清掃、情報提供
1	静岡県トラック協会中央地区支部 中部分室	H29.12.14	藤枝市岡部町岡部地先	・歩道、路側帯の清掃、情報提供
1	国際航業(株)中部支社	H30.11.21	静岡市葵区栄町地先～御幸町地先	・歩道等の清掃、除草、歩道の安全点検、 情報提供
1	(株)ナガシマ電子	R3.11.2	静岡市駿河区北丸子地先	・歩道及び植栽帯の清掃(緑化)
1	(株)NIPPO静岡統括事業所	R3.11.15	静岡市駿河区国吉田二丁目地先	・歩道の清掃、除草
1	静岡中央建設(株)	R3.11.15	静岡市駿河区国吉田二丁目地先	・歩道の清掃、除草
139	朝霧メイプルファーム(有)	R3.12.17	富士宮市麓地先	・路肩の清掃、除草
1	遠藤建設(株)	R4.8.8	富士市鮫島地先～同市川成島地先	・歩道の清掃
1	(合)イデオモーター	R4.8.23	静岡市清水区長崎地先	・歩道の清掃、除草
	ケルヒージャパン(株)	R4.8.23	管内の国道のうち一部分	・歩道の清掃、除草
1	静和工業(株)	R4.11.11	静岡市葵区日出町～静岡市葵区黒金町	・歩道の清掃、除草



12 住民参加型の道路管理

○道路協力団体

- 道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援
- 道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を推進

<トピックス>



道路協力団体

令和4年12月にロゴマークが決定！

■静岡国道事務所管内の道路協力団体

道路協力団体名	富士山 ^{あさぎり} 朝霧高原景観管理協議会	特定非営利活動法人 丸子 ^{まりこ} まちづくり協議会
初回指定日	平成28年12月27日(火)	令和3年1月18日(月)
指定区間	国道139号 28k400(富士宮市猪之頭)～36k250(同市根原)	国道1号 187k300(静岡市駿河区丸子)～191k900(藤枝市岡部町岡部)
業務内容	(1号業務) 歩道等の除草・清掃・除草剤散布 (2号業務) 募金活動、活動応援自動販売機の設置 (4号業務) 集約案内サインの設置の研究 (5号業務) 道路景観に関する普及啓発、富士山一周サイクリングルートの整備を踏まえた修景活動などの検討	(1号業務) 道路清掃・花壇整備 (2号業務) 自動販売機設置、オープンカフェ・朝市、道路案内設備整備、レンタサイクル、観光ガイド、予約駐車場 (3号業務) 駐車パトロール・注意喚起看板設置 (5号業務) ワークショップ、道路に関する普及・啓発活動等

45

■除草・清掃(朝霧高原)



■キャンプ場でのマルシェ(朝霧高原)



■ワークショップ(宇津ノ谷峠)



■R5.3.21 第5回「春のやじきたウォークin 宇津ノ谷」

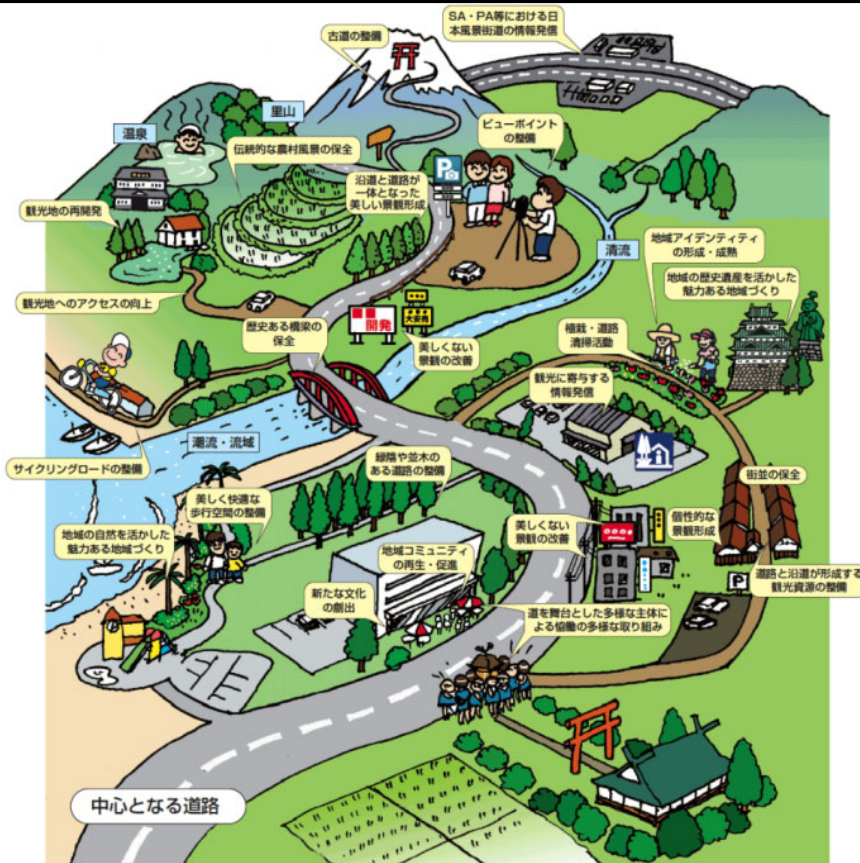
内容: 宇津ノ谷峠の歴史や文化を楽しむイベント
参加: 97人



13 道路を活かした地域の活性化

○日本風景街道

- 郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、地域活性化、観光振興、美しい国土の形成を目指す取組
- 令和4年4月現在、全国で144ルートが登録され、うち、静岡国道管内では3か所が活動



日本風景街道のイメージ

ぐるり富士山風景街道

富士山の見える道風景、富士山をぐるりと巡る道風景を守り・創り・伝えていく

霊峰富士を巡る幾筋もの道には、日本人の祈りの風景があり、それを支えた暮らしの風景があります。春夏秋冬、さまざまな角度から眺める富士の姿は美しい。

「ぐるり富士山風景街道」は、その名のとおり、国道138号、139号、469号をつないでぐるりと富士山麓を一周するルートが主軸になっている。

地域の活動推進体制

■ぐるり富士山風景街道
NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人まちづくりトッパーナーふじのみや本舗、富士山朝霧高原景観管理協議会等46団体、行政機関

地元の取組・活動

富士宮市朝霧地区や御殿場市及び小山町では、地域の方々を中心に、転落防止柵の茶色への塗り替え、除草・ゴミの清掃や花の植替えによる環境美化活動など優れた景観を守る活動を行っている。



13 道路を活かした地域の活性化

○日本風景街道

東海道「駿河2峠6宿風景街道」

東海道と富士山、宿場と峠を満喫する

江戸時代、五街道のうち最も重要な街道だった東海道。静岡市には、その東海道の宿場が6宿（蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子）あり、当時の町並みや史跡など歴史的な文化を残している。さらに、歌川広重が見た東海道の風景が現在でも唯一眺望できる薩埵峠と、伊勢物語の舞台にもなった宇津ノ谷峠がある。

富士山の絶景が楽しめ、ウォーキングに最適。ナショナルサイクルルートに認定された太平洋岸自転車道もこの道と重なっており、サイクリングも楽しめる。

大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」

南アルプスの豊かな自然・お茶街道の魅力を満喫

南アルプスや大井川などの雄大な景観、四季折々の見所が満載で、桜の名所、映画ロケ地の駅舎、美しい景観に囲まれた温泉などの豊富な地域資源が楽しめる。SLや日本唯一のAPT式鉄道で行く大井川流域の旅は最高。

さらに、東海道の難所として知られた大井川流域に育んでいる宿場町（島田宿・金谷宿）の歴史や駿河神楽などの伝統文化の資源も満載。又、牧之原台地から始まる大井川筋は「お茶街道」となっており、見て、飲んで、体験できるお茶の街道としても楽しめる。

地域の活動推進体制

■静岡二峠六宿街道観光協議会
NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人丸子まちづくり協議会、しずおか街道観光研究会等24団体、郷土史家(学識経験者等)2名、行政機関

地元の取組・活動

町内会、ビルの管理者、企業、地域の住民、国、県、市など、様々な方々の協力を得て、案内サインの設置、ベンチ等の塗り替え、さらに石碑の修景、解説マップ等の情報発信など、旧東海道の「まち磨き」を行い、「魅力ある2峠6宿」を育てている。

地域の活動推進体制

■大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」推進協議会準備会
NPO法人まちづくり川根の会、NPO法人かわね来風、観光協会 8団体、行政機関

地元の取組・活動

新東名「島田金谷IC」降りてすぐにある「KADODE OOIGAWA」では、大井川流域の緑茶・農業・観光を「飲んで、食べて、買って、体験して」楽しむことができる。



13 道路を生かした地域の活性化

○ほこみちによる地域活性化

- 令和2年11月25付道路法等の一部を改正する法律案の施行により、ほこみち制度が創設
- 一般国道1号静岡駅北側において、ほこみち指定を検討
- 道の駅「朝霧高原」において、コロナ占用特例からほこみちへ移行



●ほこみち（歩行者利便増進道路）とは??

賑わいのある道路空間を構築するための指定制度

●ほこみち制度で何が変わる??

1. 指定された特例区域内では占用基準が緩和
→無余地性の基準が除外され、占用物件が置きやすくなる
2. 歩行者空間の構造基準を策定
→歩行者の利便増進を図る空間作りが可能になる

<道の駅「朝霧高原」での利用状況>

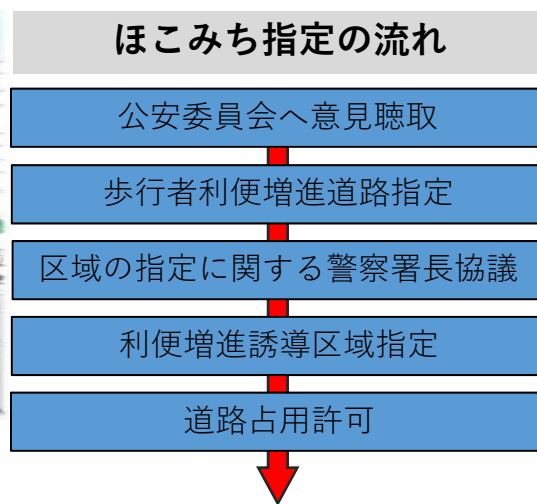
観光客（大型観光バス）の利用も多く、コロナ占用特例で設置されたテント等が有効に活用されている。

富士宮やきそば、地元産牛乳を使ったソフトクリーム等の飲食。ペット連れのお客様が、ペットと一緒に休憩を楽しんでいる。

48



ほこみちのイメージ図
出典：出典：国土交通省 令和3年3月
「コロナ占用特例からほこみちへ」



写真：道の駅「朝霧高原」での利用状況

R5夏頃 運用開始予定

14 自転車の利用環境の整備と活用促進

○太平洋岸自転車道

○太平洋岸自転車道は、千葉県から静岡県を通り、和歌山県に至る延長約1,400kmの自転車道で、令和3年5月31日にナショナルサイクルルートに指定

○令和5年度は、これまでに実施した安全点検の評価結果を踏まえ、安全点検の手引き(案)を作成予定

■太平洋岸自転車道ルート図



■太平洋岸自転車道の安全点検検討会

沿線自治体	静岡県、静岡市、富士市
警察	静岡県警
地域関係者	レバンテフジ静岡 ふじのくにeastサイクリストクラブ
学識経験者	埼玉大学 久保田教授 東海大学 鈴木准教授
事務局	国土交通省静岡国道事務所



<安全点検の実施状況(R4)>

■安全点検のチェック項目

チェック項目	
舗装・路面・排水施設	① 未舗装、ひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はあるか
	② パンクの原因となるガラス破片・釘の散乱、通行の妨げになる落下物はあるか
	③ 植栽の通行空間へのはみ出し、街路樹からの落葉等の堆積はあるか
	④ 海沿いで水しぶきのかかる箇所はあるか
	⑤ 海沿いで砂が堆積している箇所はあるか
防護柵	⑥ 路外転落を防ぐための防護柵の不足箇所はあるか (車両用防護柵のみの箇所など)
附属物	⑦ 走行の妨げになる道路附属物はあるか (柵、標識、車止め等)
注意喚起	⑧ トンネル、橋梁部、急勾配箇所等の注意喚起の不足箇所はあるか
案内誘導	⑨ 経路、分岐点、距離に関する案内標示・ピクトの不足箇所はあるか
	⑩ 矢羽根等の劣化はあるか
	⑪ 拠点(サイクリストに優しい施設)への案内に不足箇所はあるか (サイクルステーション、トイレ、ビュースポット等への一定間隔の案内)
その他	⑬ 上記以外に気付いた点(自由回答)

■太平洋岸自転車道の取組

A 案内看板

B 路面表示

矢羽根型路面表示

自転車の通行位置を自転車利用者とドライバーに示すため、矢羽根型路面表示を設置しています。

C 路線マップ・ホームページによる広報

ホームページでは、googleマップによるルート案内や地域情報リンク等を公開。

QRコード

14 自転車の利用環境の整備と活用促進

○富士山一周サイクリングルート(フジイチ)

- ぐるり富士山風景街道の取り組みの中で、富士山を一周するサイクリングルートの静岡県側の推奨ルートを、太平洋岸自転車道との接続ルートや活動拠点への引込ルートとともに関係機関と調整し、令和3年6月に設定
- 今後、山梨県と連携し、ぐるり富士山風景街道の取組として自転車活用促進を推進
- 国道139号においては、朝霧地区の自治会および道路協力団体との議論を踏まえた富士宮地区通行空間整備事業を令和4年度から事業化し、令和5年度は設計等を実施

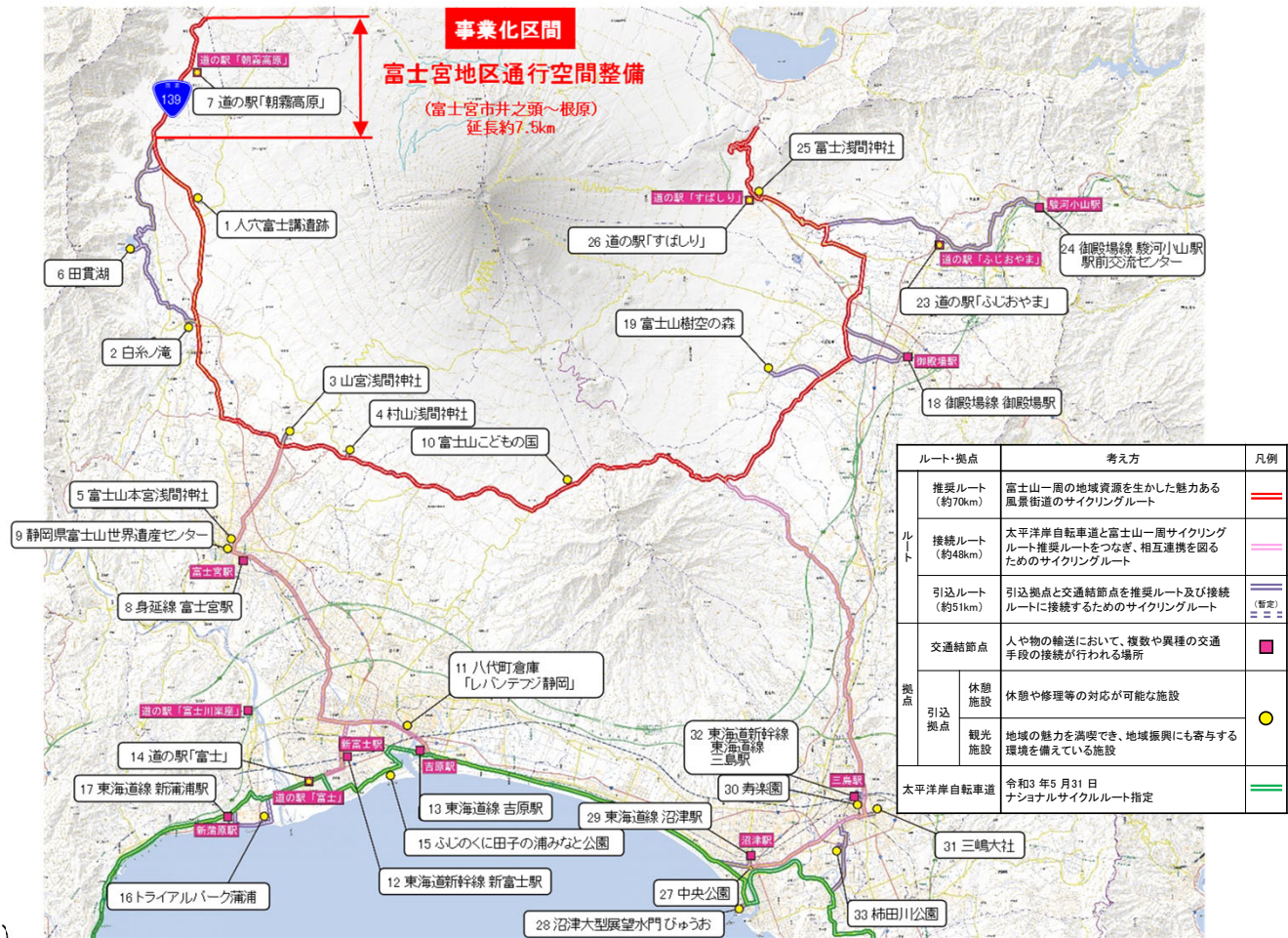
50



国道139号から富士山を望む



朝霧さわやかパーキングへの
バイクスタンドの設置(令和5年2月)



15 地域への情報発信

- ホームページやパネル展等において事業の進捗等を発信するとともに、地域広報誌や児童向け新聞において、特に知っていただきたいトピックスや道路の役割を解説
- また、工事による交通規制、災害による通行止めや被災、復旧の状況、今後の見通しについてはSNSを活用し、リアルタイムで道路利用者への情報提供を実施

ホームページ・SNS

- ・ホームページでは記者発表のほか、道路状況の分かるライブカメラ画像や各事業、施策の進捗状況などを掲載。
- ・X(旧Twitter)では災害時の通行止めや被災、復旧、今後の見通し等を発信中



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/index.html>



https://twitter.com/mlit_shizukoku/



越波の動画を見られます！

パネル展示・動画上映

- ・清水立体や藤枝バイパス事業等のパネル展示や動画上映を事務所1Fロビーにて実施中。令和4年度は静岡市内の3区役所で清水立体巡回パネル展を実施



事務所1Fロビーの様子

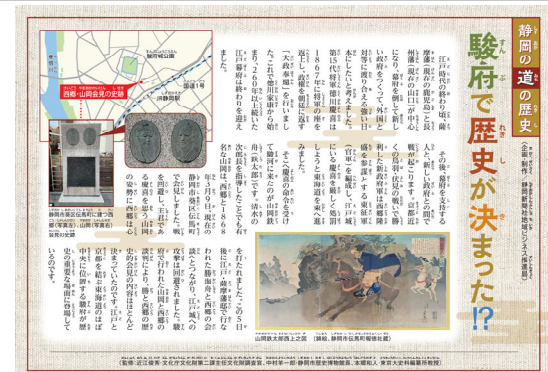
清水立体パネル展の様子(R4.10.31～11.18)

地域広報誌等を活用した地域へのお知らせ

- ・フリーマガジンを活用し季節や事業の進捗に応じ、特に知っていただきたい情報を解説



- ・静岡において古くから道路・街道が人と物の交流、国土及び地域の形成において果たしてきた役割を解説



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/chikioshirase.html>

16 建設業の課題解決に向けた取り組み

○担い手確保・育成

- 建設業において高齢化等により技能労働者が大量に離職することが見込まれ、将来を担う若者の入職・定着を促し、人材を確保することが重要
- 若者の早期活躍の促進・定着に向けた取り組みとして、就業体験や教育訓練の実施

■取り組み内容

- 近隣の小中学校に出向いて、実験を交えた出前講座
- 実際施工している現場で、建設機械の説明や施工状況の現場見学会
- インターシップによる橋梁点検を実施する就業体験
- 若手を対象にした講師による説明資料や討議資料を用いた合同研修
- オンライン等を用いたグループワーク形式の研修
- 工事現場において実演等を交えた実地研修
- ドローンを用いた飛行訓練や簡易な橋梁点検の体験研修
- 他機関と合同の現場見学や工事検査などの臨場受検

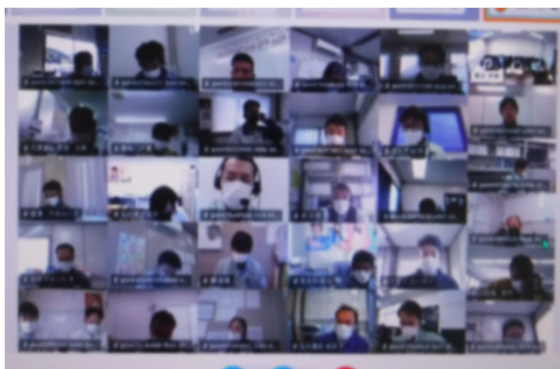
■取り組み状況



出前講座



現場見学会



オンライン研修(イメージ)



ドローン体験研修

16 建設業の課題解決に向けた取り組み ODX・新技術の活用(Digital Transformation)

○労働力人口が減少する中、社会資本の効果的な整備を図るため生産性向上が不可欠。
○ODX・新技術・新工法の活用で安全確保や長時間労働抑制・休日確保など働き方改革に取り組む。省エネルギー化を推進しカーボンニュートラルを目指す。

■AIの活用で安全快適な道路環境構築

既存のCCTVカメラ画像を活用し、AIが道路の異常を早期に判断することで道路管理業務の効率化を図りつつ、安全快適な道路環境構築に取り組む



滞留検知



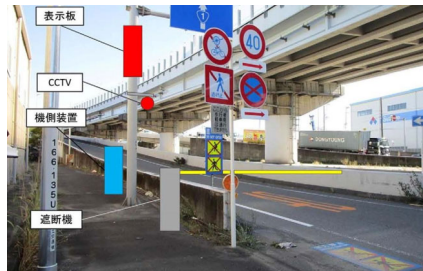
人物侵入検知

■遠隔制御システム導入による安全確保

津波が想定される場合、迅速な安全確保のため遠隔制御遮断機を1箇所設置する。防災体制の省力化を図りつつ、スタッフの安全確保も実現する



津波情報板



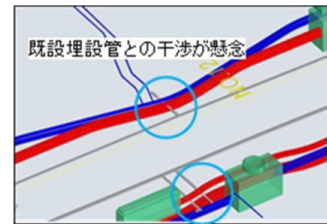
遮断機イメージ

■BIM/CIMの活用による建設生産管理システムの効率化

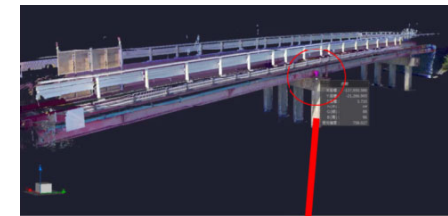
BIM/CIMとは、設計や工事において、3次元モデルを作成・活用することにより、詳細な検討や現地の分かり易い説明が可能になり、作業の効率化や安全対策の向上を図る

■BIM/CIMの取り組み事例

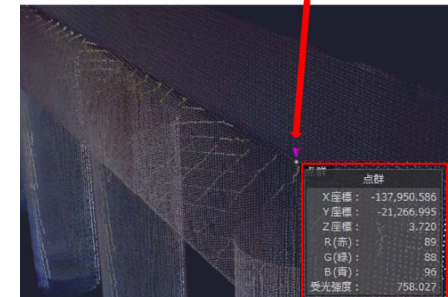
現地状況を3次元化して、地下埋設物の把握、近接施工の検討、工事施工中の変位計測等に活用



3次元データの作成・蓄積



3次元モデルによる施工検討



3次元モデルによる変位計測

■照明灯のLED化等で省エネルギー化を推進

消費電力が少ない道路・トンネル照明灯のLED化等で省エネルギー化を推進し、CO₂排出削減を図る



国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8番1号

お問い合わせ: TEL 054-250-8900(代表)・FAX 054-252-5747・E-mail: cbr-sizukoku@mlit.go.jp

静岡国道維持出張所 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷2075 TEL:054-278-5181 FAX:054-277-3467

富士国道維持出張所 〒417-0001 富士市今泉337-1 TEL:0545-52-5650 FAX:0545-57-5006

静岡国道事務所ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡国道事務所公式ツイッター @mlit_shizukoku



道路の異状を発見したら

道路緊急ダイヤル #9910

全国共通 | 24時間受付無料

路面の汚れ(油・土砂) ガードレール等の損傷

標識等の損傷 路面の落下物

動物の死骸 路面の穴ぼこ・段差